

6月30日からの梅雨前線に伴う大雨
及び平成29年台風第3号に係る
関係省庁災害対策会議（第6回）

議 事 次 第

日時：平成29年7月10日（月）16:00～
場所：合同庁舎8号館3階 災害対策本部会議室

1. 松本内閣府特命担当大臣（防災）挨拶
2. 松本内閣府特命担当大臣（防災） 政府調査団長報告
3. これまでの気象状況と、今後の気象の見通し
4. 被害状況及び各省庁の対応状況
5. その他

九州北部地方の今後の天気の見通しと警戒事項について 1 気象庁

平成29年7月10日15時現在

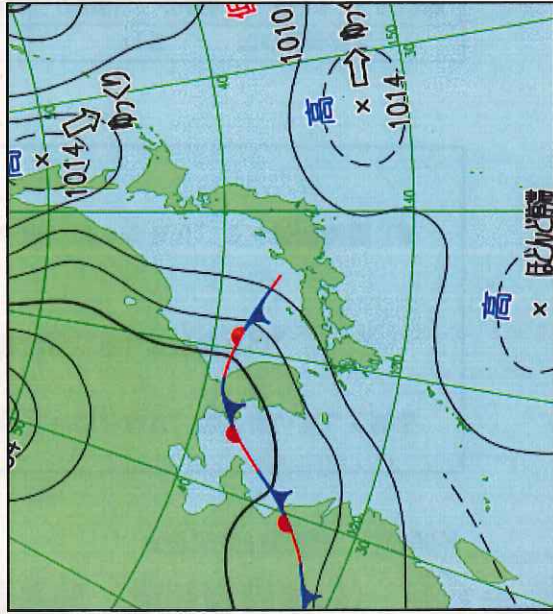
＜概況＞ 朝鮮半島付近にある梅雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、九州北部地方では大気の状態が不安定となっている。明日11日にかけても、大気の不安定な状態が続く見込み。

＜今後の見通し＞ 今日10日、明日11日共に曇りで、今夜及び明日11日午後は局地的に雷を伴い、1時間に30ミリ以上の激しい雨の降る所がある見込み。12日(水)も、前線や湿った空気の影響で雨が降る見込み。

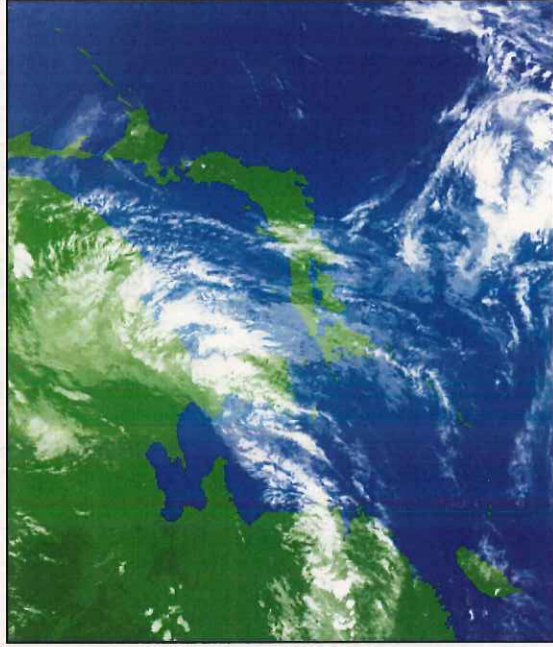
＜警戒事項＞ これまでの大雨で地盤の緩んでいる地域や、すでに災害が発生している地域は、雨が降ること
で更に危険な状況となるおそれ。土砂災害に厳重に警戒。河川の増水や氾濫、低い土地の浸水、落雷、竜巻などの激しい突風にも注意。また、高温が予想されるため、熱中症など健康管理にも注意。引き続き、最新の気象情報等に留意。

【気象庁の対応】

- ・九州北部地方の大雨に関するポータルサイトを気象庁ホームページに開設。応急対応や被災者生活を支援するため、市町村単位で天気の変化などを掲載した気象支援資料を、毎日(05時、11時、17時)に掲載。
- ・大気の状態が不安定で大雨となりやすい気象状況が続いていることから、引き続き警戒を呼びかけている。



実況天気図 10日12時



気象衛星画像(赤外) 10日15時



予想天気図 11日21時

福岡県の天気解説

10日の九州北部地方は、湿った空気の影響により曇りや雨となり、雷を伴い激しく降る所があるでしょう。

福岡県では高温が予想されるため、熱中症など健康管理に注意してください。

<天気変化等の留意点>

10日12時から11日12時までの1時間雨量（多い所）は30ミリ、24時間雨量（多い所）は80ミリの見込みです。

朝倉市付近の天気

日 / 気温	10日 / 日中の最高30℃				11日 / 朝の最低25℃			
時	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時
天気	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
3時間雨量(ミリ)	1~4	1~4	1~4	0	0	0	0	1~4
気温(℃)	29	29	28	27	26	26	26	27
風向	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
風速(m/s)	5	5	4	5	3	3	2	3

風向・0m/s ↑1-4m/s ↑5-9m/s ↑10m/s以上

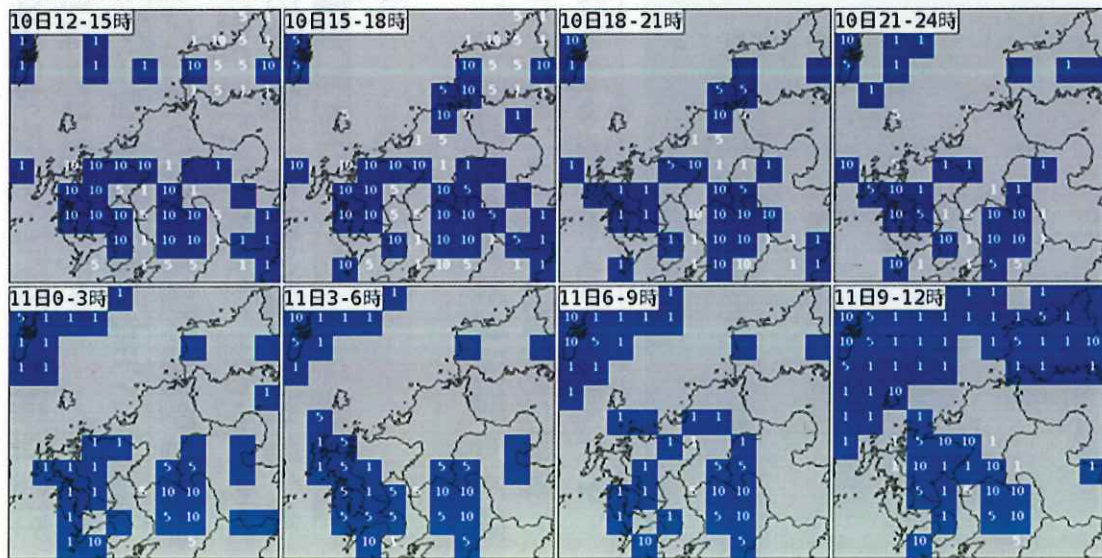
気温は各時間帯の初めの時間の予想値です。例えば18-21なら18時の予想値です。

週間天気予報（福岡県 気温：福岡）

日	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)	16日(日)	17日(月)
天気	曇後一時雨 ☁☔	曇一時雨 ☁☔	曇 ☁	曇 ☁	曇 ☁	曇時々晴 ☁☀	曇 ☁
降水確率(%)	30/30/50/40	50	40	30	30	30	40
最高気温(℃)	33	32	33	33	33	33	33
最低気温(℃)	27	26	26	26	26	26	26

降水確率の1日目は、0-6/6-12/12-18/18-24時です。

福岡県付近の天気分布予報



天気：☀晴れ ☁曇り ☔雨 □範囲外 数字は雨格子の3時間雨量 1(1~4ミリ) 5(5~9ミリ) 10(10ミリ以上)

福岡県の天気解説

10日の九州北部地方は、湿った空気の影響により曇りや雨となり、雷を伴い激しく降る所があるでしょう。

福岡県では高温が予想されるため、熱中症など健康管理に注意してください。

<天気変化等の留意点>

10日12時から11日12時までの1時間雨量（多い所）は30ミリ、24時間雨量（多い所）は80ミリの見込みです。

東峰村付近の天気

日 / 気温	10日 / 日中の最高30℃				11日 / 朝の最低25℃			
	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時
天気	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁	☁
3時間雨量(ミリ)	1~4	1~4	1~4	0	0	0	0	1~4
気温(℃)	29	29	28	27	26	26	26	27
風向	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑	↑
風速(m/s)	4	5	5	4	5	4	4	4

風向・0m/s ↑1-4m/s ↗5-9m/s ↘10m/s以上

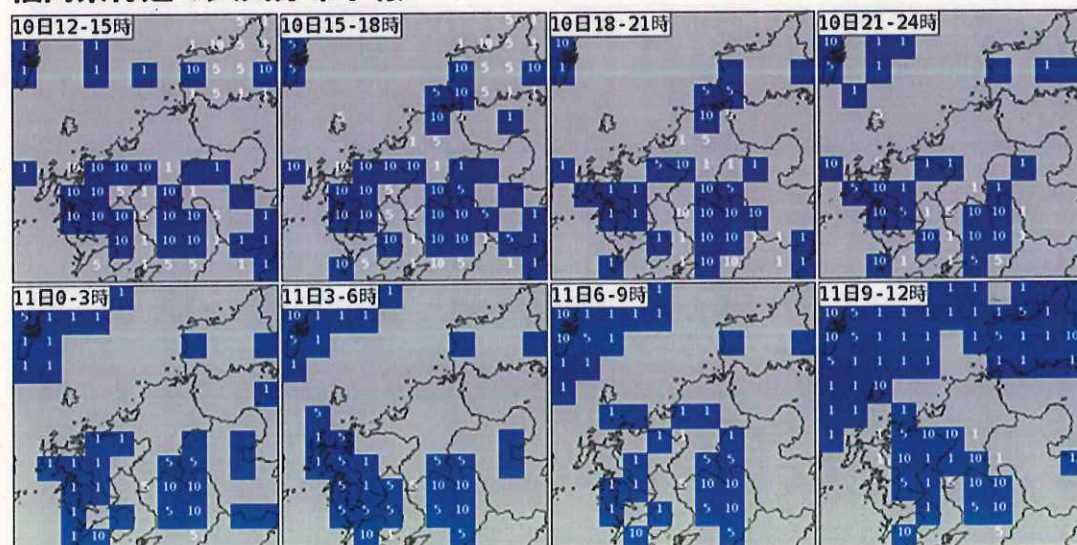
気温は各時間帯の初めの時間の予想値です。例えば18-21なら18時の予想値です。

週間天気予報（福岡県 気温：福岡）

日	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)	16日(日)	17日(月)
天気	曇後一時雨 ☁/☔	曇一時雨 ☁/☔	曇 ☁	曇 ☁	曇 ☁	曇時々晴 ☁/☀	曇 ☁
降水確率(%)	30/30/50/40	50	40	30	30	30	40
最高気温(℃)	33	32	33	33	33	33	33
最低気温(℃)	27	26	26	26	26	26	26

降水確率の1日目は、0-6/6-12/12-18/18-24時です。

福岡県付近の天気分布予報



天気：☐晴れ ☐曇り ☐雨 ☐範囲外 数字は雨格子の3時間雨量 1(1~4ミリ) 5(5~9ミリ) 10(10ミリ以上)

平成29年7月10日 11時00分

大分県の天気解説

10日は、湿った空気の影響により概ね曇りで、雷を伴った激しい雨の降る所があるでしょう。高温が予想されるため、熱中症など健康管理に注意してください。

<天気変化等の留意点>

10日は、午後を中心に雨や雷雨となる所があるでしょう。

<大分県の予想雨量> 10日12時から11日12時までの24時間雨量（多い所）。

中部 30ミリ 北部 30ミリ 西部 80ミリ 南部 30ミリ

日田市付近の天気

日 / 気温	10日 / 日中の最高30℃				11日 / 朝の最低23℃			
	12-15時	15-18時	18-21時	21-24時	0-3時	3-6時	6-9時	9-12時
天気								
3時間雨量(ミリ)	1未満	1~4	1~4	0	1未満	0	1~4	0
気温(℃)	28	29	27	26	24	24	24	27
風向								
風速(m/s)	4	4	4	4	4	3	4	4

風向・0m/s 1-4m/s 5-9m/s 10m/s以上

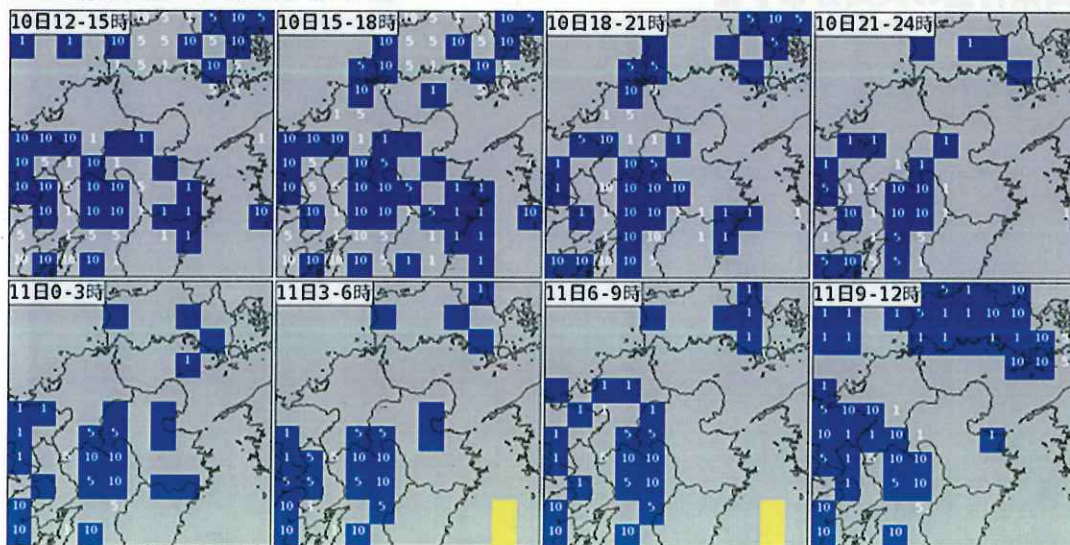
気温は各時間帯の初めの時間の予想値です。例えば18-21なら18時の予想値です。

週間天気予報（大分県 気温：大分）

日	11日(火)	12日(水)	13日(木)	14日(金)	15日(土)	16日(日)	17日(月)
天気							
降水確率(%)	30/30/20/30	50	40	30	30	30	40
最高気温(℃)	32	32	32	31	31	31	31
最低気温(℃)	25	25	24	24	24	24	24

降水確率の1日目は、0-6/6-12/12-18/18-24時です。

大分県付近の天気分布予報



天気： 晴れ 曇り 雨 範囲外 数字は雨格子の3時間雨量 1(1~4ミリ) 5(5~9ミリ) 10(10ミリ以上)

平成29年6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び台風第3号の被害状況及び消防機関等の対応状況等について（第24報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

平成29年7月10日（月）13時30分

消防庁災害対策本部

※下線部は前回からの変更点

1 気象の状況（気象庁情報）

- ・ 梅雨前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が非常に不安定となった
- ・ 九州北部地方では、5日昼頃から積乱雲が次々と発生し連なる状況（線状降水帯）となり、6日昼前までの24時間に福岡県朝倉市で545.5ミリ、大分県日田市で370ミリを観測（いずれも観測史上1位、7月一ヶ月間の平年雨量を超える）するなど、記録的な大雨となった

2 被害状況

(1) 人的・物的被害

都道府県名	人的被害				住家被害					非住家被害	
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
			重傷	軽傷							
人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
福島県									1		
茨城県									7		
千葉県									3		
新潟県			1	1			2	3	51		
富山県								2	15		
石川県							1		13		
長野県							1				
岐阜県							3	1	23		
静岡県				2							
愛知県							2	4	6		
和歌山県				1							
島根県				1				3	19		
広島県								4	17		
愛媛県				1							
福岡県	18	1	2	8	7	7	26	32	158		6
佐賀県							1	1	71		
長崎県									6		
熊本県				5			7	5	19		
大分県	3		1	5	7	8	16	91	131		10
合計	21	1	4	24	14	15	59	146	540		16

《死者の状況》

【福岡県】

- ・ 1名（朝倉市杷木地区：60歳代男性。巡回中の消防団員が発見し、死亡を確認（7月6日））
- ・ 2名（朝倉市山田地区：80歳代男性、80歳代女性を発見（7月6日））
- ・ 1名（朝倉市宮野地区：70歳代男性。排水作業中に川に流され、その後、死亡を確認（7月7日））
- ・ 1名（朝倉市杷木地区：20歳代男性。捜索中の警察官が発見し、死亡を確認（7月7日））
- ・ 2名（東峰村：80歳代男性、80歳代女性。岩屋地区付近を捜索中の警察及び自衛隊が発見し、死亡を確認（7月8日））
- ・ 3名（朝倉市黒川地区：60歳代女性、20歳代女性、男児を消防が捜索中に発見し、死亡を確認（7月8日））

- ・ 1名（朝倉市杷木林田：年齢不詳の女性を消防団員が発見し、死亡を確認（7月8日））
- ・ 1名（朝倉市杷木林田：30歳代女性を一般市民が発見し、死亡を確認（7月8日））
- ・ 1名（朝倉市杷木松末：年齢不詳の女性を発見し、死亡を確認（7月8日））
- ・ 1名（朝倉市杷木松末：年齢不詳の女性を発見し、死亡を確認（7月8日））
- ・ 1名（朝倉市杷木池田：年齢不詳の女性を発見し、死亡を確認（7月8日））
- ・ 2名（朝倉市：年齢不詳の女性2名を発見し、死亡を確認（7月9日））
- ・ 1名（東峰村：年齢不詳の女性を発見し、死亡を確認（7月9日））

【大分県】

- ・ 1名（日田市：40歳代男性が崩土に巻き込まれ、その後、死亡を確認（7月6日））
- ・ 1名（日田市：70歳代男性を君迫川で発見、その後、死亡を確認（7月6日））
- ・ 1名（日田市：70歳代女性を田代川で発見、その後、死亡を確認（7月7日））

《行方不明者の状況》

【福岡県】

- ・ 1名（東峰村：詳細確認中）

《連絡が取れない者の状況》

【福岡県】

- ・ 26名（朝倉市：詳細確認中）

《重傷者の状況》

【新潟県】

- ・ 1名（糸魚川市：60歳代男性が用水路に転落し骨折（7月1日））

【福岡県】

- ・ 2名（東峰村：40～50歳代女性と10歳代男性の親子が家屋に入ってきた土砂により受傷（7月6日））

【大分県】

- ・ 1名（佐伯市で70歳代女性が風にあおられ転倒し右腕骨折疑い（7月4日））

(2) 孤立の状況等

【福岡県】

- ・ 東峰村 岩屋地区 13世帯 28名
※ただし徒歩での往来は可能。なお、この28名は自らの意思で残留

【大分県】

- ・ 日田市 小野地区 3箇所 129名
大鶴地区 1箇所 20名
※上記の2地区については、電気・水道などのライフラインは問題なく、住民は自らの意思で残留

3 避難指示等の状況（7月10日 12時30分現在発令中のもの）

都道府県名	市区町村名	避難指示(緊急)		避難勧告	
		対象世帯数	対象人数	対象世帯数	対象人数
福岡県	朝倉市	115	316	21,256	54,412
	小計	115	316	21,256	54,412
大分県	中津市			4	7
	日田市	1,842	4,990	4,093	10,229
	小計	1,842	4,990	4,097	10,236
合 計		1,957	5,306	25,353	64,648

4 避難所の状況

【福岡県】

・ 24箇所 1,356名 (7月10日 9時00分現在)

【熊本県】

※現時点で避難者なし

【大分県】

・ 10箇所 375名 (7月10日 6時30分現在)

都道府県名	市区町村名	避難所数	避難者数
福岡県	北九州市	4	14
	朝倉市	10	1,027
	東峰村	9	313
	添田町	1	2
	計	24	1,356
大分県	中津市	1	2
	日田市	9	373
	計	10	375
合計		34	1,731

5 都道府県における災害対策本部の設置状況

【島根県】 7月5日 5時55分 災害対策本部設置

→7月10日 10時00分 廃止

【福岡県】 7月5日 15時30分 災害対策本部設置

【熊本県】 7月5日 8時30分 災害対策本部設置

【大分県】 7月5日 19時30分 災害対策本部設置

6 消防機関等の活動体制

《7月10日の活動》

【福岡県】

地元消防本部 約700名

地元消防団 約1000名

県内消防応援等及び緊急消防援助隊 675名 (ヘリ7機) 8時10分現在

【大分県】

地元消防本部 約500名

地元消防団 約300名

県内消防応援等及び緊急消防援助隊 260名 (ヘリ6機) 8時10分現在

7 消防機関等の対応

(1) 島根県

ア 地元消防機関による活動等

被災地では消防機関 (消防吏員・消防団員) により救助等の活動を実施

イ 相互応援協定による活動等

7月5日 9時04分 島根県益田市において、相互応援協定に基づき、鳥取県防災ヘリコプターが孤立者4名を救出

ウ 広域航空消防応援による活動等

7月5日 15時30分 島根県知事の要請に基づき、消防庁長官から鳥取県知事及び山口県知事に対し、広域航空消防応援によるヘリコプターの出動を要請し、鳥取県防災ヘリコプターが孤立者3名を救出

(2) 福岡県及び大分県

ア 地元消防機関による活動等

被災地では消防機関（消防吏員・消防団員）により救助等の活動を実施
福岡市及び北九州市消防ヘリコプターにより情報収集活動を実施

※日田市において巡回活動中の消防団員（40歳代男性）が崩土に巻き込まれ死亡（7月6日）

イ 緊急消防援助隊の活動等

【7月5日】

<福岡県関係>

《消防庁の対応》

- ・消防庁から大阪府、兵庫県、岡山県、広島県、山口県、香川県及び長崎県に対し、緊急消防援助隊の出動可能隊数の報告及び出動準備を依頼（23時20分）

<大分県関係>

《消防庁の対応》

- ・消防庁から福岡県、佐賀県、熊本県及び宮崎県に対し、緊急消防援助隊の出動可能隊数の報告及び出動準備を依頼（19時55分）
- ・消防庁から愛知県に対し、緊急消防援助隊（全地形対応車を含む部隊）の出動可能隊数の報告及び出動準備を依頼（20時00分）
- ・消防庁から山口県、愛媛県、高知県及び長崎県に対し、緊急消防援助隊（航空小隊）の出動可能隊数の報告及び出動準備を依頼（20時25分）
- ・大分県知事から消防庁長官に対し、緊急消防援助隊の応援要請（21時12分）
- ・消防庁長官から愛知県知事、福岡県知事、佐賀県知事及び熊本県知事に対し、緊急消防援助隊の大分県への出動を求め（21時20分）
- ・消防庁長官から宮崎県知事に対し、緊急消防援助隊の大分県への出動を求め（21時25分）
- ・消防庁長官から山口県知事、愛媛県知事、高知県知事及び長崎県知事に対し、緊急消防援助隊の大分県への出動を求め（航空小隊）（22時30分）

《指揮支援隊》

- ・福岡市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、大分県庁に向け出動（21時45分）
- ・熊本市消防局の指揮支援隊が、日田玖珠広域消防組合消防本部に向け出動（22時00分）
- ・北九州市消防局の指揮支援隊が、中津市消防本部に向け出動（22時50分）

《熊本県大隊》

- ・熊本県大隊（陸上部隊）が、大分県に向け出動（22時20分）

《宮崎県大隊》

- ・宮崎県大隊（陸上部隊）が、大分県に向け出動（23時32分）

【7月6日】

<福岡県関係>

《消防庁の対応》

- ・福岡県知事から消防庁長官に対し、緊急消防援助隊の応援要請（0時00分）
- ・消防庁長官から岡山県知事及び広島県知事に対し、緊急消防援助隊の福岡県への出動を求め（0時20分）

- ・消防庁長官から長崎県知事に対し、緊急消防援助隊の福岡県への出動を求め（0時30分）
- ・消防庁長官から広島県知事に対し、緊急消防援助隊の福岡県への出動を求め（1時15分）
- ・消防庁長官から大阪府知事、兵庫県知事、岡山県知事及び香川県知事に対し、緊急消防援助隊（航空小隊）の福岡県への出動を求め（1時30分）
- ・消防庁長官から山口県知事に対し、緊急消防援助隊の福岡県への出動を求め（1時40分）

《指揮支援隊》

- ・岡山市消防局の指揮支援隊が、甘木・朝倉消防本部に向け出動（1時05分）
 - 岡山市消防局の指揮支援隊が、行き先を変更し朝倉市役所に到着（8時09分）
- ・広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁に向け出動（1時20分）
 - 広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁に到着（6時00分）

《広島県大隊》

- ・広島県大隊（陸上部隊）が、福岡県に向け出動（3時25分）
 - 広島県大隊（陸上部隊）が、進出拠点（筑紫野市）に到着（9時30分）
- ・朝倉市内の孤立地区に対応するため、進出拠点（筑紫野市）から指揮隊1隊、救急隊8隊、救助隊1隊出動（16時35分）

《山口県大隊》

- ・山口県大隊（陸上部隊）が、進出拠点（筑紫野市）に到着（6時06分）
- ・東峰村小石原地区へ検索救助活動を実施するため移動開始（10時15分）
 - 同地区へ到着、検索救助活動を実施（12時30分～16時20分）

《長崎県大隊》

- ・長崎県大隊（陸上部隊）が、進出拠点（筑紫野市）に到着（5時37分）
- ・東峰村小石原地区へ検索救助活動を実施するため移動開始（10時15分）
 - 同地区へ到着、検索救助活動を実施（12時30分～16時20分）

《消防ヘリ》

- ・大阪市消防ヘリが、岩尾キャンプ場にて傷病者2名を救急搬送（13時00分～15時10分）
- ・兵庫県消防ヘリが、北九州空港に到着
 - 朝倉地区の孤立者を救助に向かうも天候不良のため引揚げ（14時15分～14時45分）
- ・岡山県消防ヘリが、福岡空港に到着（16時26分）
 - 引き続き、高木地区にて1名の救助・救急活動を実施（16時56分～18時15分）
- ・香川県消防ヘリが、北九州空港に到着（13時43分）

<大分県関係>

《消防庁の対応》

- ・大分県知事から消防庁長官に対し、緊急消防援助隊の追加応援要請（11時41分）
- ・消防庁長官から宮崎県知事に対し、緊急消防援助隊の大分県への追加出動を求め（航空小隊に係る後方支援小隊）（12時15分）

《指揮支援隊》

- ・福岡市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、大分県庁に到着（0時20分）
- ・北九州市消防局の指揮支援隊が、中津市消防本部に到着（1時13分）
- ・熊本市消防局の指揮支援隊が、日田玖珠広域消防組合消防本部に到着（1時58分）

《佐賀県大隊》

- ・佐賀県大隊（陸上部隊）が、進出拠点（日田市）に到着（3時39分）
- ・日田市内北西側において警察・自衛隊とともに検索救助活動開始（8時10分）
 - ※救急隊は日田市内の土砂災害現場で活動を実施

《熊本県大隊》

- ・熊本県大隊（陸上部隊）が、進出拠点（日田市）に到着（5時00分）
 - ・日田市内北西側において警察・自衛隊とともに検索救助活動開始（8時10分）
- ※救急隊は日田市内の土砂災害現場で活動を実施

《宮崎県大隊》

- ・宮崎県大隊（陸上部隊）が、進出拠点（中津市）に到着（5時43分）
 - ・中津市内を6区画に分け検索活動を実施
- ※5区画検索実施、残り1区画は明朝より再検索実施予定
- ・宮崎県大隊（航空小隊に係る後方支援小隊）が、大分県央空港に向け出動（15時50分）

《愛知県大隊》

- ・愛知県大隊（陸上部隊）が、進出拠点（日田市）に到着（18時40分）

《消防ヘリ》

- ・高知県消防ヘリが、日田市上空にて情報収集活動を実施（9時55分～11時35分）
 - 引き続き、東峰村上空にて情報収集活動を実施（14時02分～15時37分）
- ・山口県消防ヘリが、日田市にて救助・救急活動を実施、2名救出（10時50分～13時02分）
 - 日田市の孤立したデイサービスセンターで4名救出（16時49分～17時51分）
- ・愛媛県消防ヘリが、日田市の孤立したデイサービスセンターの情報収集活動を実施（13時13分～14時05分）
 - 天候回復を待って、同デイサービスセンターの要救助者12名を救出（15時51分～17時35分）

【7月7日】

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・岡山市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・広島県大隊（陸上部隊）が、東峰村の南側の検索活動を実施するため移動（5時00分）
 - 東峰地区南側から東峰村役場まで進行、岩屋地区の検索活動を実施、80歳代女性1名を避難所で発見し搬送

《山口県大隊》

- ・山口県大隊（陸上部隊）が、東峰村の北側の検索活動を実施するため移動（5時00分）
 - 東峰地区から今道集会場まで進行し、村外から避難している30名と接触（11時10分）
 - 30名は自衛隊の車両にて移動完了

《長崎県大隊》

- ・長崎県大隊（陸上部隊）が、朝倉市の検索活動を実施
 - 東峰村に移動し、検索活動を実施
- ※うち救助隊2隊は自衛隊のヘリにて移動し、朝倉市高木地区元の目にて検索活動を実施
- 朝倉市高木地区元の目にて、3名救出（14時47分）

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外の自県ヘリを含む）》

- ・福岡市消防ヘリが、朝倉市上空から情報収集活動を実施（5時40分～5時43分）
 - 救助活動へ移行、朝倉市松末地区乙石にて9名の救助救急活動を実施（5時43分～9時21分）
 - 朝倉市高木地区元の目にて救助隊員8名の現場投入を実施（14時29分～18時15分）

- ・岡山県消防ヘリが、朝倉市松末地区乙石にて10名の救助救急活動を実施
(6時35分～8時15分)
- ・岡山県消防ヘリが、朝倉市高木地区元のみ及び荒田にて4名の救助救急活動を実施
(15時28分～16時40分)
- ・奈良県消防ヘリが、福岡空港へ到着(15時47分)
- ・奈良県消防ヘリが、朝倉市高木地区佐田牟田にて4名の救助救急活動を実施
(18時30分～20時13分)
- ・大阪市ヘリが、朝倉市高木地区佐田田代にて救助隊員3名の現場投入を実施
(18時00分～19時50分)
- ・北九州市消防ヘリが、朝倉市高木地区佐田田代にて2名の救助救急活動を実施
(18時52分～19時57分)
- ・香川県消防ヘリが、朝倉市高木地区佐田田代にて3名の救助救急活動を実施
(18時53分～20時19分)
- ・兵庫県消防ヘリが、朝倉市高木地区佐田田代にて2名の救助救急活動を実施
(19時02分～20時02分)

《ドローン》

- ・内閣府と連携し、東峰村役場付近においてドローンによる上空からの情報収集活動を実施
→ 広島県大隊の無線中継車により、消防庁等へ画像伝送を実施(17時15分)

<大分県関係>

《指揮支援隊》

- ・福岡市消防局の指揮支援隊(部隊長)が、大分県庁にて指揮支援活動を実施
- ・北九州市消防局の指揮支援隊が、中津市消防本部にて指揮支援活動を実施
→ 中津市における緊急消防援助隊の活動終了に伴い、引き揚げ(18時30分)
- ・熊本市消防局の指揮支援隊が、日田玖珠広域消防組合消防本部にて指揮支援活動を実施

《佐賀県大隊》

- ・佐賀県大隊(陸上部隊)が、日田市鶴城町及び上宮町の検索活動を実施
(8時30分～22時00分)

《熊本県大隊》

- ・熊本県大隊(陸上部隊)が、日田市鶴城町及び上宮町の検索活動を実施
(8時30分～22時00分)

《宮崎県大隊》

- ・宮崎県大隊(陸上部隊)が、中津市6区画のうち、未検索地区1区画の検索活動を実施
→ 中津市における緊急消防援助隊の活動終了に伴い、日田市へ部隊移動(18時30分)

《愛知県大隊》

- ・愛知県大隊(全地形対応車を含む陸上部隊)が、日田市鶴城町の検索活動を実施
(8時30分～22時00分)

《消防ヘリ(※緊急消防援助隊以外の自県ヘリを含む)》

- ・長崎県消防ヘリが、日田市上空から情報収集活動を実施(14時36分～16時01分)
- ・高知県消防ヘリが、日田市上空から情報収集活動を実施(15時45分～17時16分)
→ 再度、日田市上空から情報収集活動を実施(17時54分～19時03分)
- ・大分県消防ヘリが、日田市古田地区にて2名の救助救急活動を実施
(18時03分～19時04分)

【7月8日】

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・ 広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・ 岡山市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・ 広島県大隊（陸上部隊）が、東峰村の岩屋地区で検索救助活動を実施（7時00分～7時20分）
→ 東峰村の岩屋地区へ転進し検索救助活動を実施（10時20分～15時47分）

《山口県大隊》

- ・ 山口県大隊（陸上部隊）が、東峰村の竹地区で検索救助活動を実施（7時00分～15時47分）

《長崎県大隊》

- ・ 長崎県大隊（陸上部隊）が、東峰村の栗松地区で検索活動を実施（7時00分～7時20分）
→ 朝倉市松末中村地区へ転進し検索救助活動を実施（7時20分～15時47分）

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外の自県ヘリを含む）》

- ・ 香川県消防ヘリが、朝倉市高木地区元の目で救助隊員の現場投入活動を実施
(6時00分～7時20分)
- ・ 福岡市消防ヘリが、朝倉市高木地区元の目で救助隊員の現場投入活動を実施
(7時13分～7時58分)
- ・ 奈良県消防ヘリが、朝倉市高木地区荒田で救助隊員の現場投入活動を実施
(6時11分～7時28分)
→ 帰投後、再度、朝倉市高木地区荒田で現場投入活動を実施（9時10分～10時35分）
- ・ 広島市消防ヘリが、北九州空港に到着（6時50分）
- ・ 大阪市消防ヘリは、帰投

《ドローン》

- ・ 内閣府と連携し、ドローンによる東峰村上空からの情報収集活動を実施
(13時30分～14時30分)
→ 消防庁へ撮影動画を伝送

<大分県関係>

《指揮支援隊》

- ・ 福岡市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、大分県庁にて指揮支援活動を実施
- ・ 熊本市消防局の指揮支援隊が、日田玖珠広域消防組合消防本部にて指揮支援活動を実施

《佐賀県大隊》

- ・ 佐賀県大隊（陸上部隊）が、日田市鶴城町で検索活動を実施（7時20分～9時30分）
→ 日田市上宮町へ転進し検索救助活動を実施（9時30分～17時30分）

《熊本県大隊》

- ・ 熊本県大隊（陸上部隊）が、日田市鶴城町で検索活動を実施（7時20分～9時30分）
→ 日田市上宮町へ転進し検索救助活動を実施（9時30分～17時50分）

《宮崎県大隊》

- ・ 宮崎県大隊（陸上部隊）が、日田市鶴城町で検索活動を実施（7時20分～9時30分）
→ 日田市上宮町へ転進し検索救助活動を実施（9時30分～15時20分）

《愛知県大隊》

- ・愛知県大隊（全地形対応車を含む陸上部隊）が、日田市鶴城町で検索活動を実施
(7時20分～9時30分)
→ 日田市上宮町へ転進し検索救助活動を実施（9時30分～14時00分）

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外の自県ヘリを含む）》

- ・大分県消防ヘリが、日田市上空から情報収集活動等を実施（11時05分～13時01分）
- ・高知県消防ヘリが、朝倉市杷木地区白木及び日田市上空で情報収集活動を実施
(11時10分～12時55分)
- ・熊本県消防ヘリが、日田市小野源栄町で医師搬送を実施（12時56分～13時56分）
- ・愛媛県消防ヘリが、日田市小野源栄町で救助救急活動を実施（15時13分～16時11分）
- ・山口県消防ヘリが、日田市小野源栄町で医師搬送を実施（15時54分～17時14分）

【7月9日】

《消防庁の対応》

- ・消防庁長官が、福岡県知事の要請に基づき、大分県知事及び日田市長の意見を踏まえ、佐賀県知事及び愛知県知事に対し、緊急消防援助隊の大分県から福岡県への部隊移動を求め(12時35分)

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・岡山市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・広島県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区白木及び杷木地区林田で検索救助活動を実施
(6時00分～16時00分)

《山口県大隊》

- ・山口県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区星丸及び東峰村岩屋地区で検索救助活動を実施
(6時00分～16時00分)

《長崎県大隊》

- ・長崎県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区古賀で検索救助活動を実施
(6時00分～16時00分)

《佐賀県大隊》

- ・佐賀県大隊（陸上部隊）が、大分県から福岡県（朝倉市）への転進に向け調整

《愛知県大隊》

- ・愛知県大隊（全地形対応車を含む陸上部隊）が、大分県から福岡県（朝倉市）への転進に向け調整

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外の自県ヘリを含む）》

- ・広島市消防ヘリが、朝倉市及び東峰村上空から情報収集活動を実施（13時19分～14時59分）
- ・兵庫県消防ヘリが、朝倉市松末地区上空から情報収集活動を実施（16時50分～18時25分）
- ・福岡市消防ヘリが、朝倉市松末地区上空から情報収集活動を実施（16時49分～17時46分）

<大分県関係>

《指揮支援隊》

- ・福岡市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、大分県庁にて指揮支援活動を実施
- ・熊本市消防局の指揮支援隊が、日田玖珠広域消防組合消防本部にて指揮支援活動を実施

《熊本県大隊》

- ・熊本県大隊（陸上部隊）が、日田市大鶴町で警戒活動を実施（13時00分～17時00分）
- ・熊本県大隊（救急隊）が、避難所の傷病者1名を救急搬送（11時57分）

《宮崎県大隊》

- ・宮崎県大隊（陸上部隊）が、日田市大鶴町で警戒活動を実施（8時00分～12時00分）
→ 日田市の警戒活動に備え、拠点にて待機

【7月10日】

<福岡県関係>

《指揮支援隊》

- ・広島市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、福岡県庁にて指揮支援活動を実施
- ・岡山市消防局の指揮支援隊が、朝倉市役所にて指揮支援活動を実施

《広島県大隊》

- ・広島県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区林田で検索救助活動を実施（6時00分～）

《山口県大隊》

- ・山口県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区星丸で検索救助活動を実施（6時00分～）

《長崎県大隊》

- ・長崎県大隊（陸上部隊）が、朝倉市杷木地区古賀で検索救助活動を実施（6時00分～）

《佐賀県大隊》

- ・佐賀県大隊（陸上部隊）が、朝倉市松末地区石詰で検索救助活動を実施（6時00分～）

《愛知県大隊》

- ・愛知県大隊（全地形対応車を含む陸上部隊）が、朝倉市杷木地区星丸で検索救助活動を実施
(6時00分～)

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外の自県ヘリを含む）》

- ・兵庫県、奈良県、岡山県、香川県、北九州市及び福岡市の消防ヘリが、救助活動等を実施予定
- ・広島市消防ヘリが、朝倉市上空から筑後川支流の情報収集活動を実施

(10時40分～12時12分)

<大分県関係>

《指揮支援隊》

- ・福岡市消防局の指揮支援隊（部隊長）が、大分県庁にて指揮支援活動を実施
- ・熊本市消防局の指揮支援隊が、日田玖珠広域消防組合消防本部にて指揮支援活動を実施

《熊本県大隊》

- ・熊本県大隊（陸上部隊）が、日田市小野地区で警戒活動を実施 (8時55分～12時00分)

《宮崎県大隊》

- ・宮崎県大隊（陸上部隊）が、日田市小野地区で警戒活動を実施 (8時30分～)

《消防ヘリ（※緊急消防援助隊以外の自県ヘリを含む）》

- ・山口県、愛媛県、高知県、長崎県、熊本県及び大分県の消防ヘリが、救助活動等を実施予定

ウ 救助実績

<福岡県関係>

227人（うち、消防ヘリによる救助41人）※7月10日 12時50分現在

<大分県関係>

56人(うち、消防ヘリによる救助22人) ※7月10日 12時50分現在

8 消防庁の対応

- | | | |
|------|--------|--|
| 7月3日 | 12時30分 | 関係省庁災害警戒会議に応急対策室長が出席 |
| | 15時08分 | 全都道府県に対し「梅雨前線及び台風による大雨警戒情報」を发出 |
| 7月4日 | 6時30分 | 応急対策室にて情報収集体制を強化 |
| 7月5日 | 5時55分 | 応急対策室長を長とする災害対策室設置(第1次応急体制) |
| | 11時30分 | 関係省庁災害対策会議に応急対策室長が出席 |
| | 17時51分 | 国民保護・防災部長を長とする消防庁災害対策本部へ改組(第2次応急体制) |
| 7月6日 | 5時25分 | 現地活動支援及び現地広報のため、消防庁職員を福岡県へ6名、大分県へ6名を派遣 |
| | 7時30分 | 関係省庁災害対策会議に消防庁次長が出席 |
| | 8時00分 | 消防庁長官を長とする消防庁災害対策本部へ改組(第3次応急体制) |
| | 9時00分 | 関係閣僚会議に総務大臣が出席 |
| | 16時30分 | 関係省庁災害対策会議に消防・救急課長が出席 |
| | 17時00分 | 政府調査団として、地域防災室長を福岡県に派遣 |
| 7月7日 | 10時00分 | 関係閣僚会議に総務大臣が出席 |
| | 16時00分 | 関係省庁災害対策会議に総務課長が出席 |
| 7月9日 | 9時30分 | 政府調査団として、震災対策専門官を大分県に派遣 |
| | 11時30分 | 関係省庁災害対策会議に消防・救急課長が出席 |

問い合わせ先

消防庁災害対策本部

TEL 03-5253-7513

FAX 03-5253-7553

福岡県

7月10日 大雨に伴う福岡県内の緊急消防援助隊等の活動状況

平成29年7月10日
12時50分現在

緊急消防援助隊

部隊	出動機関	部隊数(隊)	人数(名)	活動状況
指揮支援	広島市(部隊長)	1	5	福岡県庁消防応援活動調整本部にて指揮支援活動を実施
	岡山市	1	4	朝倉市役所にて指揮支援活動を実施
陸上	広島県	44	140	朝倉市杷木地区林田にて検索救助活動を実施
	山口県	43	170	朝倉市杷木地区星丸にて検索救助活動を実施
	長崎県	26	84	朝倉市杷木地区古賀にて検索救助活動を実施
	佐賀県	19	67	朝倉市松末地区石詰にて検索救助活動を実施
	愛知県 (全地形対応車含む)	7	31	朝倉市杷木地区星丸にて検索救助活動を実施
	小計	141	501	
		兵庫県	1	6
航空	奈良県	1	9	
	岡山県	1	6	自隊待機
	香川県	1	6	
	広島市	1	6	ヘリベース待機
	小計	5	33	
合計	146	534		

県内応援隊等

部隊	出動機関	部隊数(隊)	人数(名)	活動状況
陸上	県内各消防本部	32	131	朝倉市内各地区にて検索救助活動を実施
航空	北九州市	1	5	
	福岡市	1	5	ヘリベース待機
	合計	34	141	

大分県

7月10日 大雨に伴う大分県内の緊急消防援助隊等の活動状況

平成29年7月10日
12時50分現在

緊急消防援助隊

部隊	出動機関	部隊数(隊)	人数(名)	活動状況
指揮支援	福岡市(部隊長)	1	6	大分県消防応援活動調整本部にて指揮支援活動を実施
	熊本市	1	5	日田玖珠広域事務組合消防本部にて指揮支援活動を実施
陸上	熊本県	38	130	日田市小野地区にて警戒活動を実施
	宮崎県	20	81	
小計		60	222	
航空	山口県	1	7	自隊待機
	愛媛県	1	6	
	高知県	1	7	ヘリベース待機
	長崎県	1	6	
	熊本県	1	6	自隊待機
小計		5	32	
合計		65	254	

県内応援隊等

部隊	出動機関	部隊数(隊)	人数(名)	活動状況
陸上				県内応援なし
航空	大分県	1	6	ヘリベース待機
合計		1	6	

海上保安庁対応状況
(10日15時00分現在)

5日 1941 海上保安庁対策本部設置
5日 1941 第七管区海上保安本部対策本部へ改組

固定翼機1機 被害状況調査中
回転翼機2機 基地待機中
機動救難士4名 基地待機中

救助者数
7月6日 12名
7月7日 28名
計 40名

福岡基地



対応勢力
・巡視艇 2隻
対応中 0隻
準備中 2隻
・航空機 3機(固定翼1機、回転翼2機)
対応中 1機(固定翼1機、回転翼0機)
準備中 2機(固定翼0機、回転翼2機)

本日の活動
有明海及び福岡県、大分県沿岸海域等の被害状況調査

6 総務省

平成29年7月10日

総務省

7月5日からの福岡・大分の大雨に係る被害状況等について（概要）

1 情報通信の状況（7月10日13時現在）

- (1) 通信 【固定】大分県日田市の一部^(※)不通 ※約245回線。その他は復旧済み。
→10日(月)中のサービス回復を目指し、作業を進める予定。
【携帯】朝倉市及び東峰村の一部で不通 ※計40局停波。
→停波局は、道路開通後順次現地入りし、復旧対応実施予定。

(2) 放送 【地上テレビ・ラジオ】通常運用中

→地域情報の放送に有効な「臨時災害放送局」について、朝倉市、東峰村及び日田市に対し、説明済み（東峰村について周波数確保済み）

2 被災地方公共団体の状況（7月10日13時現在）

○ 職員派遣の状況

福岡県内：要請54名／派遣45名、 大分県内：要請16名／派遣8名

(これまでの主な取組)

- 7月6日(木) 総務大臣出席により、総務書災害関係局長級会議（第1回）を開催
→7月7日(金)第2回開催
福岡県災害対策本部へリエゾンを派遣（※）※政府現地連絡調整室にも登録
- 7月7日(金) 福岡県への政府調査団に自治財政局財政課参事官が参加
- 7月9日(日) 大分県・福岡県への政府調査団に自治財政局財政課参事官が参加

厚生労働省
平成29年07月10日
13時00分現在

福岡県・大分県等の大雨について（第19報）

1 厚生労働省における対応

- 07/06 07:00 厚生労働省災害対策本部設置
- 07/06 10:20 厚生労働省災害対策本部第1回会合開催
- 07/07 18:00 省内課長級会議開催

- 馬場大臣政務官の政府調査団派遣
 - ・7/7、内閣府松本副大臣を長とする政府調査団（福岡県）に馬場大臣政務官、九州厚生局長ほか1名を派遣。

- 職員の現地等への派遣状況
 - ・7/6、医療・福祉・水道の状況を確認するため、厚生労働省職員、現地の厚生局・労働局職員を福岡県に8名、大分県に3名派遣。
 - ・福岡県東峰村の特別養護老人ホーム宝珠の郷へ日田労働基準監督署から職員を2名派遣。
 - ・7/7、医療・福祉・水道の状況を確認するため、厚生労働省職員を福岡県・大分県に引き続き派遣。
 - ・特別養護老人ホーム清和園へ本省職員を派遣し、問題が無いことを確認。
 - ・7/8、医療・福祉・水道の状況を確認するため、厚生労働省職員、現地の厚生局・労働局職員を福岡県・大分県に引き続き派遣。
 - ・避難所の状況等を確認するため、厚生労働省職員（保健師等）2名を福岡県に派遣。
 - ・7/9、医療・水道の状況を確認するため、厚生労働省職員、現地の厚生局・労働局職員を福岡県・大分県に引き続き派遣。
 - ・内閣府松本特命担当大臣を長とする政府調査団（大分県）に九州厚生局長ほか2名を派遣。
 - ・福岡県庁に設置された政府現地連絡調整室に九州厚生局から1名を派遣。
 - ・7/10、医療・水道の状況を確認するため、厚生労働省職員、現地の厚生局職員を福岡県・大分県に引き続き派遣。

- ・福岡県庁に設置された政府現地連絡調整室に厚生労働省職員1名を派遣。

2 医療関係

(1) 医療施設（精神科病院を除く）の被害状況

① 病院、有床診療所

- ・福岡県・・避難指示又は避難勧告が出た9市町村に所在する全ての医療施設（病院64、診療所86）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。（朝倉市の1透析診療所が断水しており、近隣施設で対応中。）
7月7日6時30分以降、新たに避難指示又は避難勧告が出た2市1町に所在する全ての医療施設（病院103、診療所115）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。
- ・大分県・・避難指示又は避難勧告が出た4市に所在する全ての医療施設（病院41、診療所56）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。
- ・熊本県・・避難指示又は避難勧告が出た12市町村に所在する全ての医療施設（病院34、診療所42）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。
- ・山口県・・避難指示又は避難勧告が出た2市に所在する全ての医療施設（病院44、診療所50）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。
- ・佐賀県・・避難勧告の出た1町に所在する全ての医療施設（病院3、診療所2）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。

② 無床診療所 各県と連携して引き続き情報収集に努める。

- ・福岡県・・断水 2箇所（朝倉市）。診療不可。
床上浸水 1箇所（朝倉市）。医療機器損傷で診療不可。
床下浸水 1箇所（朝倉市）。泥の堆積のため診療不可。
- ・大分県・・避難指示又は避難勧告が出た4市に所在する全ての診療所（104施設）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。

(2) DMATの状況

① 福岡県

7月8日までDMAT計10隊が医療活動を実施していたが、病院搬送な

どが必要な急性期の医療ニーズが減少したことに伴い7月9日より体制を見直し。7月9日以降、病院搬送が必要な患者が発生した場合には、通常の医療体制の中で対応。

- ・ 7月9日までは福岡県内のDMATが福岡県災害対策本部（DMAT調整本部）で活動していたが、7月10日からはDMAT調整本部の活動を中断し、当面通常の体制で対応。
- ・ 福岡県内のDMATを朝倉市災害対策本部に派遣していたが7月8日をもって終了。
- ・ 福岡県内のDMATを朝倉市甘木公園に派遣していたが7月8日をもって終了。避難させる住民のうち治療の必要がある住民を朝倉医師会病院へ搬送させる活動に従事。7月8日20時までに14名を搬送。
- ・ 福岡県内のDMATを朝倉医師会病院支援のために派遣していたが7月8日をもって終了。

② 大分県

- ・ 7月8日に日田市小野地区の住民の医療ニーズの把握のためDMAT1隊を派遣。病院搬送などが必要な医療ニーズがないことを確認し、終了。

3 心のケア・精神科病院関係・障害児者支援関係

(1) 精神科病院等の被害状況

①福岡県

現時点で被害報告なし。引き続き情報収集に努める。

②大分県

現時点で被害報告なし。引き続き情報収集に努める。

(2) DPATの状況

① 福岡県

7月10日から福岡DPAT1隊が朝倉市で活動開始。

②大分県

7月9日から大分県DPAT1隊が大分県西部保健所（日田市・九重町・玖珠町を所管）で活動中。

4 生活衛生・食品安全関係

(1) 水道の被害状況

福岡県、大分県内の市町村に対し水道の被害状況について情報収集を実施。また、日本水道協会に対し、被害情報について情報共有を図ることと

し、それに基づいた応急給水・応急復旧の支援を行うよう依頼。

①断水の状況（7/10 13:00現在）

○福岡県2市村で2,308戸、大分県1市で63戸が断水。（前回報告比±0戸）

※ 被害報告のあった地域を記載

県、市町村名	最大断水戸数	現在の断水戸数	断水期間	被害状況
【福岡県】 朝倉市 （あさくらし）	1,654戸	1,654戸	7/6～	杷木（はき）浄水場の浸水被害により断水
東峰村 （とうほうむら）	654戸	654戸	7/6～	浄水場に土砂流入及び管路破損により断水
小計	2,475戸	2,308戸		
【大分県】 日田市 （ひたし）	512戸	63戸	7/6～	取水施設水没及び配水管破損による断水
小計	542戸	63戸		
合計	3,027戸	2,371戸		

※ 大分県玖珠町、熊本県南阿蘇村・南小国町については7月6日、福岡県添田町については7月7日に、それぞれ断水解消。なお、表中の最大断水戸数はこれらの市町村での断水戸数を含む値である。

②応急給水の状況

【福岡県】

- ・朝倉市は、給水車5台が応急給水対応中（北九州市2台、福岡市2台及び久留米市1台）。
- ・東峰村は、小石原（こいしわら）庁舎に自衛隊給水車1台、鶴（つる）地区に1台、千代丸（ちよまる）地区に9台、竹（たけ）地区に2台のほか、村所有タンク2台で応急給水対応中。また、鼓（つづみ）地区でペットボトル水、給水袋を配布済み。

【大分県】

- ・日田市は、北部地区で給水車2台が応急給水対応中（自衛隊2台）。

③応急復旧の状況

【福岡県】

- ・朝倉市は、杷木（はき）浄水場内のがれき（土砂や流木）が堆積しており、早期に撤去する必要があるが、河川の流れが変わってしまったことで場内に進入できない状況のため、国交省・自衛隊にがれき撤去及び進入路の確保を要請。

軽自動車がかろうじて通れる林道を使い、7月10日から小型の重機にてがれきの撤去を進め、沈殿池及びろ過池の水抜き等により詳細な被害状況を確認するとともに、取水ポンプの動作確認のための電源確保、消毒等の仮設設備の手配等を進める予定。自衛隊員も浄水場内において、人力でがれき撤去作業中。

進入路が確保され大型の重機が搬入できるようになってから、2週間を目途に部分復旧を目指す。

- ・東峰村は、福岡県を通じ、日本水道協会に応急復旧の応援を要請。7月9日に北九州市が到着し、被災した4地区（鶴地区、鼓地区、竹地区、千代丸地区）の応急復旧に向け、現地調査を行うとともに、復旧方法を検討。鶴地区、鼓地区については、管路が破損しており、今週中を目途に仮復旧を目指す。竹地区については、土砂災害により浄水場へ進入できず、千代丸地区については、導水管が破損しているため、仮設設備を設置し、両地区とも2週間を目途に仮復旧を目指す。

【大分県】

- ・日田市の日ノ本簡易水道、山田簡易水道、祝原簡易水道、川崎簡易水道、北部簡易水道の一部（土砂ダムによる立ち入り禁止区域を除く）について、応急復旧済み。

土砂ダムによる立入禁止区域となっている北部簡易水道の一部については、解除を待って復旧すべく資機材等を手配済み。

殿町簡易水道は、7月9日自衛隊ヘリに日田市の水道担当職員2人が随行し調査を行い断水が判明。原因の特定に至らなかったため、7月10日に再度現地調査を実施中。

5 社会福祉施設等関係

厚生労働省本省より直接連絡をとるなどにより確認。引き続き情報収集に努める。

(1) 高齢者関係施設の被害状況

福岡県東峰村の特別養護老人ホーム2施設（宝珠の郷・清和園）については、一時孤立していたが、6日朝に自衛隊が到着し、支援活動を実施。物的・人的被害はなし。清和園については、電力・水道は復旧。宝珠の郷については、電力は復旧、断水は継続しているが、自衛隊の給水で問題なし。

福岡県朝倉市において、山崩れのおそれのため、9日の午後、避難指示が発令され、有料老人ホームわかいちに入居する12名が福岡県小郡市（5名）及び佐賀県基山市（7名）のグループホームにそれぞれ避難している。

福岡県北九州市の介護老人保健施設 1 施設において、床下浸水によりエレベータが故障したが、本日、復旧の見込み。人的被害はなし。

大分県日田市の有料老人ホーム 1 施設において、一時床上浸水したが既に復旧済み。人的被害はなし。日田市の 2 施設（デｲｯビスセンター鳩友園、小野地区老人憩いの家）については、一時孤立していたが、自衛隊等ヘリにより避難所等へ全員搬送済。

その他の施設については、厚生労働省や自治体から直接連絡を行うなどにより確認を行い、被害報告無し。

(2) 障害児・者関係施設の被害状況

大分県日田市で 2 施設において床下浸水の被害があったが、復旧済み。人的被害はなし。その他の施設については、厚生労働省や自治体から直接連絡を行うなどにより確認を行い、被害報告無し。

(3) 児童関係施設等の被害状況

大分県日田市の保育所等 4 施設、中津市の保育所 1 施設で床上や床下浸水などの被害があったが、このうち、日田市の 3 施設については、復旧済み。福岡県朝倉市の保育所 1 施設で給食室に土砂流入の被害あり。人的被害はなし。その他の施設については、厚生労働省や自治体から直接連絡を行うなどにより施設に確認を行い、被害報告無し。

(4) 関係団体への協力要請

一般社団法人日本介護支援専門員協会及び公益社団法人日本介護福祉士会に対し、避難所での活動等について協力を要請。

6 職業能力開発施設関係

(1) 職業能力開発施設の被害状況

福岡県、大分県内の公共職業能力開発施設及び認定職業訓練施設について、被害報告無し。訓練も通常どおり実施。

7 保健・衛生関係

(1) 人工透析

福岡県朝倉市の 1 透析医療施設で断水しており、給水量の関係で、同施設の入院患者には自施設で透析を実施。外来患者は、近隣医療施設で透析を受療。引き続き情報収集に努める。(各県の透析医療施設数は、福岡県に 215、大分県に 73)

(2) 被災者の健康管理

① 保健師等の活動

<福岡県>

- 朝倉市（常勤保健師数15人）
 - ・ 7日（金）から県医師1名、県保健師9名、10日（月）から福岡市保健師が支援に入り、県医師1名、県保健師7名、福岡市保健師2名が、避難所を巡回し健康相談を実施。
 - ・ 7日（金）から、避難所運営管理のため、福岡市職員10名が支援を実施。
- 東峰村（常勤保健師数2人）
 - ・ 7日（金）から県保健師2名が支援に入り、宝珠山地区の避難所を巡回し健康相談を実施。
- 福岡県北筑後保健福祉環境事務所
 - ・ 朝倉市、東峰村を所管する福岡県北筑後保健福祉環境事務所支援のために、7日（金）より県内医師を毎日1名派遣。
- 久留米市、うきは市、嘉麻市、添田町、小郡市、大牟田市、八女市、みやま市、柳川市、筑後市、大木町、川崎町、上毛町、筑前町、大刀洗町は市町村の保健師で対応可能。
- 北九州市（保健師数163人）
 - ・ 避難所開設。現時点では市保健師で対応可能。

<大分県>

- 中津市（常勤保健師数25人）
 - ・ 6日（木）から県保健師が支援に入り、9日（日）は1名が避難所を巡回し健康相談を実施。
- 日田市（常勤保健師数23人）
 - ・ 6日（木）から県保健師が支援に入り、10日（月）は3名が避難所を巡回し健康相談を実施。
- 大分県西部保健所
 - ・ 日田市を所管する大分県西部保健所支援のために、8日（土）から、医師、保健師、獣医師を派遣。

② 「避難所生活を過ごされる方々の健康管理に関するガイドライン」を福岡県庁と大分県庁にメールで送付。

(3) その他

① 保健衛生施設の被害状況

<熊本県>

市町村保健センターにおいて、雨漏り被害の報告が4件あり。復旧済み。

<福岡県・大分県>

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

- ② 感染症指定医療機関、病原体管理施設の被害状況
現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

8 医薬品・医療機器関係

(1) 医薬品卸売販売業・医療機器販売業関係

業界団体に確認したところ、現時点では医薬品・医療機器等の安定供給等に係る被害はない。

(2) 輸血用血液製剤

日本赤十字社に確認したところ、現時点では輸血用血液製剤の安定供給等に係る被害はない。

(3) 薬局・薬剤師

【福岡県】

- ・床下浸水等の報告が9件（朝倉市8件、大牟田市1件）あり。うち1件（朝倉市）は営業できていない。
- ・チラシの配布等により、いつも服用している薬が手元になく、薬のことで困っている場合は、巡回している医師、薬剤師、保健師等に相談するよう周知を実施中。
- ・福岡県薬剤師会の薬剤師（4名）が避難所（10カ所）を巡回して薬に関する相談対応を実施中。

【大分県】

- ・現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。
- ・大分県薬剤師会の薬剤師が日田市内の避難所を巡回して薬に関する相談対応を実施していたが、近隣の医療機関や薬局で対応可能なことから、9日をもって終了。

(4) 毒物劇物製造（輸入）業における毒物劇物取扱施設関係

現時点で毒物劇物の流出等の被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

9 労働関係

(1) 労働災害発生状況

現時点で労働災害発生の情報なし（福岡局、大分局）。引き続き情報収集に努める。

(2) 事業場の被災状況

以下のほか、現時点で被害情報なし。引き続き情報収集に努める。

【福岡県】

(田川郡) 福太郎 英彦山工場は工場設備の被害はないが、従業員が通勤で利用している道路が冠水等により通行止めのため休業。

(京都郡苅田町) 日産自動車九州株式会社は通常通り操業中。

(久留米市) ダイハツ九州は7/6休業。

(朝倉市) ネクスト朝倉工場(木材加工)のボイラー冠水。10日ほど停止。明石機械工業(自動車部品製造)は7/6自宅待機

(うきは市) 日本精工九州(精密部品製造)は工場浸水、装置に落雷。

【大分県】

(中津市) ダイハツ九州は7/6休業。

(日田市) キヤノン、TDKは一部職員に休みはあるが、操業・物流に影響なし。

(玖珠町・九重町) ホテルのキャンセルや遅配等あるが大きな影響なし。

(3) 労災保険関係

7月6日付 今回の大雨による被害により、労災保険給付請求書における事業主証明や医療機関の証明が受けられなくとも請求書を受理するよう、都道府県労働局に指示。

(4) 福岡労働局の対応状況について

福岡労働局、労働基準監督署、ハローワークに「大雨被害特別相談窓口」を7月10日(月)から開設し、事業主・労働者等から労働関係の各種相談に対応する。

(5) 大分労働局の対応状況について

大分労働局、労働基準監督署、ハローワークに「大雨被害特別相談窓口」を7月10日(月)から開設し、事業主・労働者等から労働関係の各種相談に対応する。

10 雇用関係

(1) 雇用保険

① 特例的な失業給付の支給

7月5日の災害救助法の適用を受け、災害の影響を受けて事業所が休業する場合に一時的な離職を余儀なくされた方に対して雇用保険失業等給付(基本手当)を支給する特別措置を実施。

11 医療保険関係

- 7月6日付 各都道府県等に対して、災害により被災した被保険者に係る保険料(税)・一部負担金の減免を行うことができる旨を周知

※平成25年5月に発出した事務連絡を再周知。

- 7月6日付 被災に伴い被災者が被保険者証を保険医療機関に提示できない場合においても、受診が可能である旨を都道府県等に連絡

1.2 介護保険関係

- 被災した要介護高齢者等への対応について

7月6日付で、福岡県（管内市町村も含む。）及び大分県（管内市町村も含む。）に対して、今般の大雨により被災した要介護高齢者等について、特別な対応（被災し、利用者負担をすることが困難な者について、利用者負担の減免ができることや、介護保険施設等で災害等による定員超過利用が認められていることなど）について周知し、特段の配慮を要請。また、福岡県及び大分県宛発出文書について、各都道府県に対して、周知。

- 7月7日付で、福岡県及び大分県に対して、今般の大雨による災害により、被災した認知症高齢者等及びその家族に対する避難所等における健康管理や生活不活発発病の予防のためのチラシ、家族支援ガイドなどを避難所等へ周知するよう依頼。

1.3 障害者福祉関係

- 7月6日付で、福岡県及び大分県に対して、被災した要援護障害者等について、市町村より特段の配慮（被災し、利用者負担をすることが困難な者について、利用者負担の減免ができるなど）をお願いするとともに、被災した視聴覚障害者等への避難所等における情報・コミュニケーション支援について、具体的な方法や配慮等の例を周知。

- 7月7日付で、避難所等で生活する障害児者への配慮事項等について都道府県に周知。

1.4 児童福祉関係

- 7月7日付で、福岡県、大分県、福岡市及び北九州市に対して、被災した子どもやその家族への支援について、児童相談所においても、関係機関と連携して支援を実施するよう要請。また、災害時における具体的な支援の方法等についても周知。

- 7月7日付で、各都道府県等に対して、保健師・助産師等が避難所等で生活する妊産婦及び乳幼児等を支援する際のポイントについて周知。

1.5 年金関係

- 7月6日付 各市町村等に対して、災害により被災した被保険者に係る国民年金

保険料の免除を行うことができる旨を周知。

1.6 消費生活協同組合関係

7月7日付で、共済事業を行う消費生活協同組合等に対し、被災した共済契約者について、掛金の払込期間の延長や共済金の請求手続きの簡素化等の取扱いが可能な旨を周知。

1.7 災害ボランティア関係

(1) 福岡県

福岡県社会福祉協議会が災害救援本部を設置（7月5日）。

朝倉市社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置（7月7日）。

・ ボランティア募集開始：7月9日（日）

・ 活動状況：7月9日（日）雨天中止

(2) 大分県

大分県社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置（7月6日）。

日田市社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置（7月8日）。

・ ボランティア募集開始：7月8日（土）

・ 活動状況：7月8日（土）186名、7月9日（日）雨天中止

(3) 厚生労働省及び全国社会福祉協議会

7月6日、福岡県及び大分県に職員を派遣し、県社会福祉協議会と被害状況等を確認するとともに、災害ボランティアセンターの設置及び運営を支援。

以上

7月10日 12:00 時点

6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び台風第3号による被害と国土交通省の対応状況（九州）

1 気象状況（気象庁情報 7/10 11:00）

- 朝鮮半島付近にある梅雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、九州北部地方では大気の状態が不安定となっている。
- 明日11日にかけても、大気的不安定な状態が続く見込み。今日10日、明日11日共に曇りで、午後は局地的に雷を伴い、1時間に30ミリ以上の激しい雨の降る所がある見込み。12日(水)、13日(木)も、前線や湿った空気の影響で雨が降る見込み。
- これまでの大雨で地盤の緩んでいる地域や、すでに災害が発生している地域は、雨が降ることで更に危険な状況となるおそれ。土砂災害に厳重に警戒。河川の増水や氾濫、低い土地の浸水、落雷、竜巻などの激しい突風にも注意。
- なお、しばらくの間は最高気温及び最低気温とも平年より高めに推移することが予想され、暖かく湿った空気により湿度も高いと考えられるため、熱中症など健康管理にも注意。

2 体制等

(1) 体制

本省、北海道開発局は、平成28年の台風以降、非常体制を継続中
 非常体制：本省、九州地整、気象庁、国土技術政策総合研究所
 警戒体制：九州運輸局、国土地理院
 対策本部：海上保安庁対策本部・第七管区海上保安部対策本部
 注意体制：中国運輸局

(2) 本省における対応

- ・各地方整備局等に対し、台風第3号の接近に伴う注意喚起を発出(7/3)
- ・災害対策連絡調整会議を開催(7/3、7/5、7/6)
- ・5日18:00 大臣指示
- ・第1回国土交通省災害対策本部会議を開催(7/5)
- ・6日10:00 関係閣僚会議を受けて、省内災害関係幹部会議を開催
- ・7日10:00 関係閣僚会議、10:30 大臣指示、第2回災害対策本部会議
- ・9日石井国土交通大臣が現地視察
- ・10日9:30 大臣指示、第3回災害対策本部会議を開催

3 人的被害等

○人的被害（消防庁 7/10 13:30）

死者 21 人（福岡 18、大分 3）、行方不明者 1 人（福岡 1）

重傷 3 人（福岡 2、大分 1）、軽傷 18 人（福岡 8、熊本 5、大分 5）

○住家被害（消防庁 7/10 13:30）

全壊 14 棟（福岡 7、大分 7）、半壊 15 棟（福岡 7、大分 8）、

一部損壊 50 棟（福岡 26、佐賀 1、熊本 7、大分 16）

床上浸水 138 棟（福岡 32、佐賀 1、熊本 5、大分 91）、

7月10日 12:00 時点

床下浸水 385 棟 (福岡 158、佐賀 71、長崎 6、熊本 19、大分 331)

○避難勧告等の情報 (消防庁 7/10 12:30)

避難指示 合計 1,957 世帯 5,306 人

※福岡県 朝倉市、大分県 日田市

避難勧告 合計 25,353 世帯 64,648 人

※福岡県 朝倉市、熊本県 熊本市、宇土市、美里町、宇城市、大分県 中津市、日田市

○孤立の状況等 (消防庁 7/10 13:30)

・福岡県東峰村の孤立 岩屋地区 13 世帯 28 名

※ただし徒歩での往来は可能。なお、この 28 名は自らの意思で残留。

※国交省は衛星通信車で通信回線を確認、陸上自衛隊及びテックフォースにより道路の啓開活動を実施中

・大分県日田市の孤立 2 地区 約 220 名

※小野地区 3 箇所 約 129 名、大鶴地区 1 箇所 約 20 名

※上記の 2 地区においては、電気・水道などのライフラインは問題なく、住民は自らの意思で残留。

4 河川、土砂災害

(1) 河川

【国管理河川】

・ 3 水系 4 河川 18 カ所で溢水等が発生。(浸水は全て解消)

・ 3 水系 5 河川 24 カ所で堤防洗掘、護岸損壊等が発生。比較的被災規模が大きい 4 カ所で緊急復旧に着手し、1 カ所完了。

【県管理河川】

・ 福岡県、大分県等管理の 3 水系 23 河川で堤防決壊、溢水等が発生。

・ 堤防等の被害が発生した 2 河川で緊急復旧に着手。

(2) ダム

・ 夜明ダム (九州電力、筑後川本川)

管理所が損壊、遠隔線が切れ一時ゲート遠隔操作不可。(現在は現場で操作可)。

(3) 土砂災害

5 県で 44 件の土砂災害が発生。

死者 1 名 (日田市)、行方不明 2 名、(朝倉市)、負傷者 4 名 (東峰村 2 件、日田市 2 件)

○朝倉市、東峰村、日田市等へ専門家 5 人を派遣し、二次災害の危険性等について調査し、関係機関へ技術的助言を提供 (7/6、7/8)。

○大分県日田市小野地区

・ 7 月 6 日午前 10 時頃、大規模な斜面崩壊による河道閉塞が発生。

・ 大分県からの要請により、土砂災害、斜面に関する専門家らを現地に派遣 (7/6、7/8)

・ 専門家から日田市長へ状況説明・技術的助言を実施。これを受け、斜面の監視カメラ、湛水池の量水標を設置し監視体制を確保

5 交通関係

(1) 道路

- ・高速道路は、E3 4大分自動車道（朝倉 IC～杷木 IC、9km）において、土砂流入の恐れにより緊急用車両のみ通行可。一般車両の開放に向けて TEC-FORCE および専門家等による現地調査を実施中。
※7/9 21:10～ 通行止め、7/10 11:20～ 緊急用車両のみ通行可
- ・直轄国道は、通行止めなし
- ・災害救助（救援物資輸送、ボランティアを含む）等に従事する車両（災害派遣等従事車両証明書を所持する車両）に対して、高速道路の無料通行措置を実施（7/7～）。
- ・補助国道は、法面崩落等により 5 路線 5 区間で通行止め
※国道 211 号（福岡県東峰村）、国道 500 号（福岡県添田町～朝倉市）、
国道 386 号（福岡県朝倉市）、国道 212 号（大分県中津市）、国道 496 号（大分県中津市）
- ・都道府県道は、土砂崩れ等により 34 区間（福岡県 12 区間、大分県 21 区間、鹿児島県 1 区間）で通行止め
- ・TEC-FORCE により、大規模な被災を受けた東峰村内の国道 211 号の啓開作業を進め、通行止めとなっている区間 5km のうち 4km で緊急用車両は通行可。

(2) 鉄道

- 在来線の 1 事業者 2 路線で運転休止
※新幹線は運転休止線区なし。
- JR九州 日田彦山線
 - ・運転休止区間：添田駅～夜明駅（29.2 km）
 - ・彦山駅～筑前岩屋駅間：釈迦岳トンネル土砂流入
 - ・大行司駅～宝珠山駅間：大行司駅駅舎倒壊、福井橋りょう盛土・軌道流失
 - ・宝珠山駅～大鶴駅間：盛土流失
- JR九州 久大線
 - ・運転休止区間：うきは駅～日田駅（17.6 km）
 - ・光岡駅～日田駅間：花月川橋りょう流失
 - ・筑後大石駅～夜明駅間：関トンネルで土砂流入、関橋りょうで土砂堆積
 - ・久大線については、7/10 より、バスによる代行輸送（筑後吉井駅～日田駅及びうきは駅～日田駅）を実施

(3) 航空

- ・空港施設等に被害なし、欠航便なし

(4) フェリー等

- ・2 事業者 2 航路で運休又は一部運休

(5) 自動車

- ・トラック事業者の事務所・倉庫浸水、車両破損が 7 件

7月10日 12:00 時点

- ・タクシーの車両及び事務所被害、運休が2社2件
- ・北九州自動車検査登録事務所等は、避難指示解除により業務再開。
- ・福岡県及び大分県の一部地域に使用の本拠地を有する車両について、自動車検査証の有効期間を8月5日まで伸長。
- ・各県から各県トラック協会あて物資輸送依頼（福岡県4件、大分県2件）
- ・自動車整備事業者の浸水等被害が15件（福岡県）

(6) 港湾

- ・三角港（熊本県）の定期船用浮棧橋が一部破損
※定期船2事業者2航路で運休又は一部運休
- ・その他熊本県内の田浦港及び鏡港において軽微な被害有り（利用上支障なし）

6 観光関係

- ・福岡県、大分県、佐賀県の8つの宿泊施設の水道管等の一部設備に破損
- ・施設点検等で2つの宿泊施設が休館

7 物流関係

- ・現時点で被害情報なし

8 国土交通省の対応

<本日（10日）>

○リエゾン：2県7市町村19名（7/5～のべ114名）

※福岡県庁、朝倉市、久留米市、うきは市、添田町、東峰村、大分県庁、日田市、中津市

○TEC-FORCE：171名が河川、道路等の被災状況調査、道路啓開等を実施
（7/6～のべ639名）

※うち130名が朝倉市、東峰村、日田市で活動。

○災害対策用機械：41台（排水ポンプ車6、照明車26、衛星通信車等5、対策本部車4）

<これまでの対応>

○道路啓開等

- ・TEC-FORCEにより、大規模な被災を受けた東峰村内の国道211号の啓開作業を進め、通行止めとなっている区間5kmのうち4kmで緊急用車両は通行可。【再掲】

- ・防災ヘリ2機で、朝倉市、東峰村、日田市の孤立集落周辺の被災状況を調査し、映像を地元自治体へ配信、データ提供（7/8）。

○早期の復旧支援、災害復旧の迅速化、技術支援のため本省災害査定官5人を派遣（7/9～）

○ドローン調査結果の関係機関への提供等

- ・河道閉塞した小野川（大分県日田市）（7/7～）
- ・国土地理院ランドバード（GSI-LB）が、日田市の鉄橋流出現場（7/6）、朝倉市内の被害状況（7/7、7/8）、東峰村内の被害状況（7/8）を撮影。

○自治体庁舎の機能確保支援

- ・通信が途絶した朝倉市、東峰村へ衛星通信車等を派遣。国交省ヘリコプ

7月10日 12:00 時点

ターの被害状況調査の映像や気象・河川情報等を提供。テレビ会議等が可能な体制を確保(7/6～)。

○技術支援・情報提供等

・国土技術政策総合研究所は、河川管理施設、土砂災害の被災調査および二次災害防止、被災施設の復旧等に関する高度技術指導の専門家を派遣(7/8)。

○九州地整を通じ、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県に対し、宅地における堆積土砂排除事業の活用についてあらためて周知(7/7)。

9 気象庁の対応

○気象庁ホームページに「7月5日からの梅雨前線による九州北部地方の大雨の関連情報」のポータルサイトを設置(7/7)

○政府調査団(7/7、7/9)に職員を派遣

○福岡県庁に設置された政府現地連絡調整室(7/8～)、朝倉市(7/9～)に職員を派遣して、詳細な気象解説を実施

10 海上保安庁の対応

(1) 対応状況

9日

○巡視艇2隻、回転翼航空機2機及び固定翼航空機1機により有明海及び別府湾周辺海域等被害状況調査

10日

○巡視艇、航空機により有明海周辺海域等の被害状況調査

○福岡航空基地に固定翼航空機1機待機、回転翼航空機2機待機

(2) 救助実績 (10日 04:00 時点) 合計 40 名

○6日(計12名)

・福岡県朝倉市立松末小学校付近の孤立者4名救助。

・福岡県朝倉市赤谷地区の孤立者5名救助。

・大分県日田市大字鶴河内老人ホームの孤立者3名救助。

○7日(計28名)

・福岡県朝倉市赤谷地区の孤立者28名を救助。

(3) リエゾン等派遣

①政府調査団派遣

・政府調査団(福岡県)に防災対策官派遣(7日対応終了)

②リエゾン派遣

・福岡県庁のべ18名、大分県庁のべ13名、熊本県庁のべ4名

11 土木研究所の対応

○土木研究所は河道閉塞箇所崩壊斜面の調査等の高度技術指導のため、専門家を大分県日田市に派遣(7/7～8)。

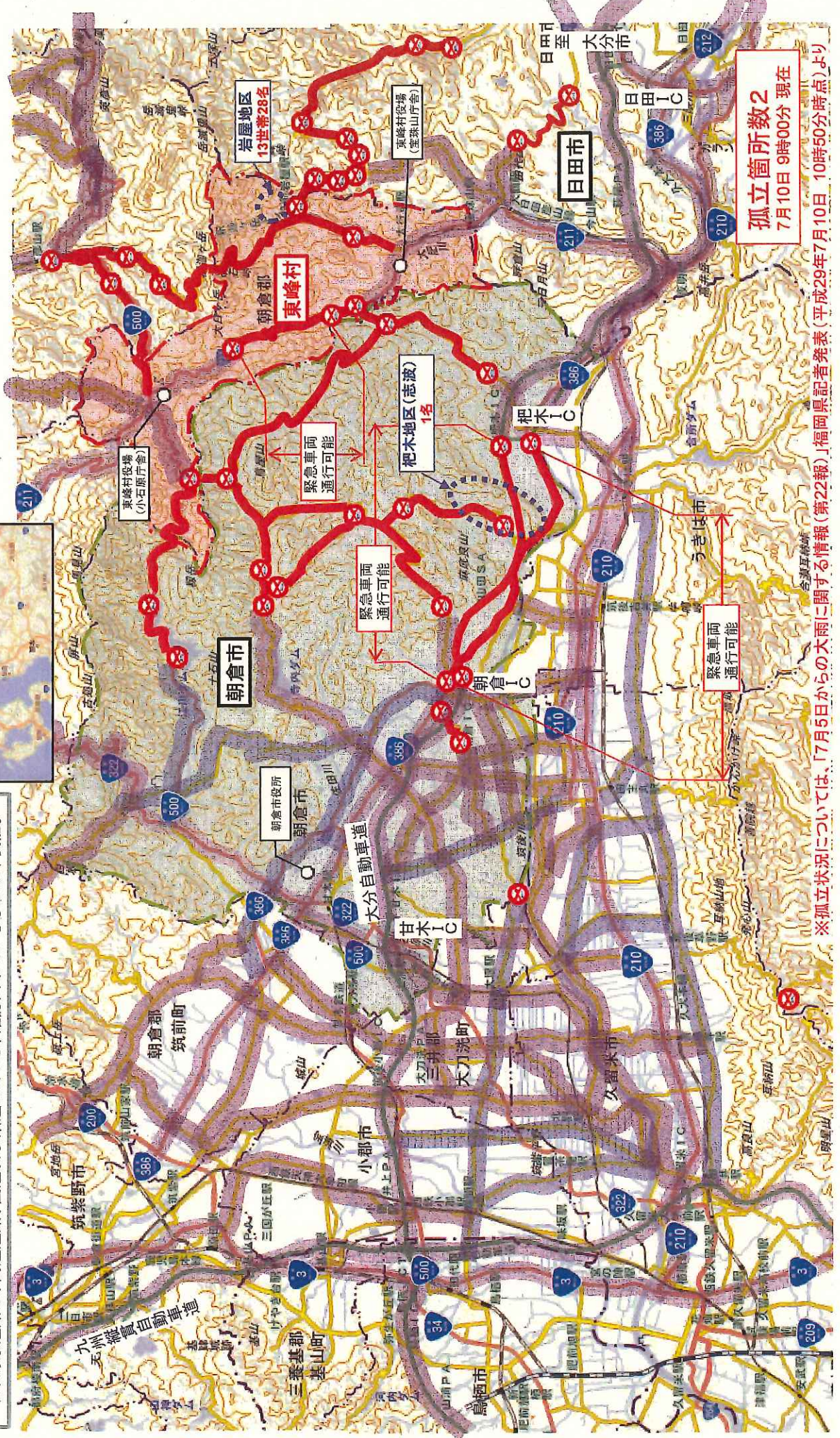
朝倉市・東峰村孤立状況・通れるマップ

2017年7月10日(月)12:00時点



通行可能区間:  孤立箇所: 
通行不能区間:  土砂崩落等被災箇所: 

注)対象道路は、高速道路、国道及び県道のみとし、確認出来ているもののみ表記。



孤立箇所数2
7月10日 9時00分 現在

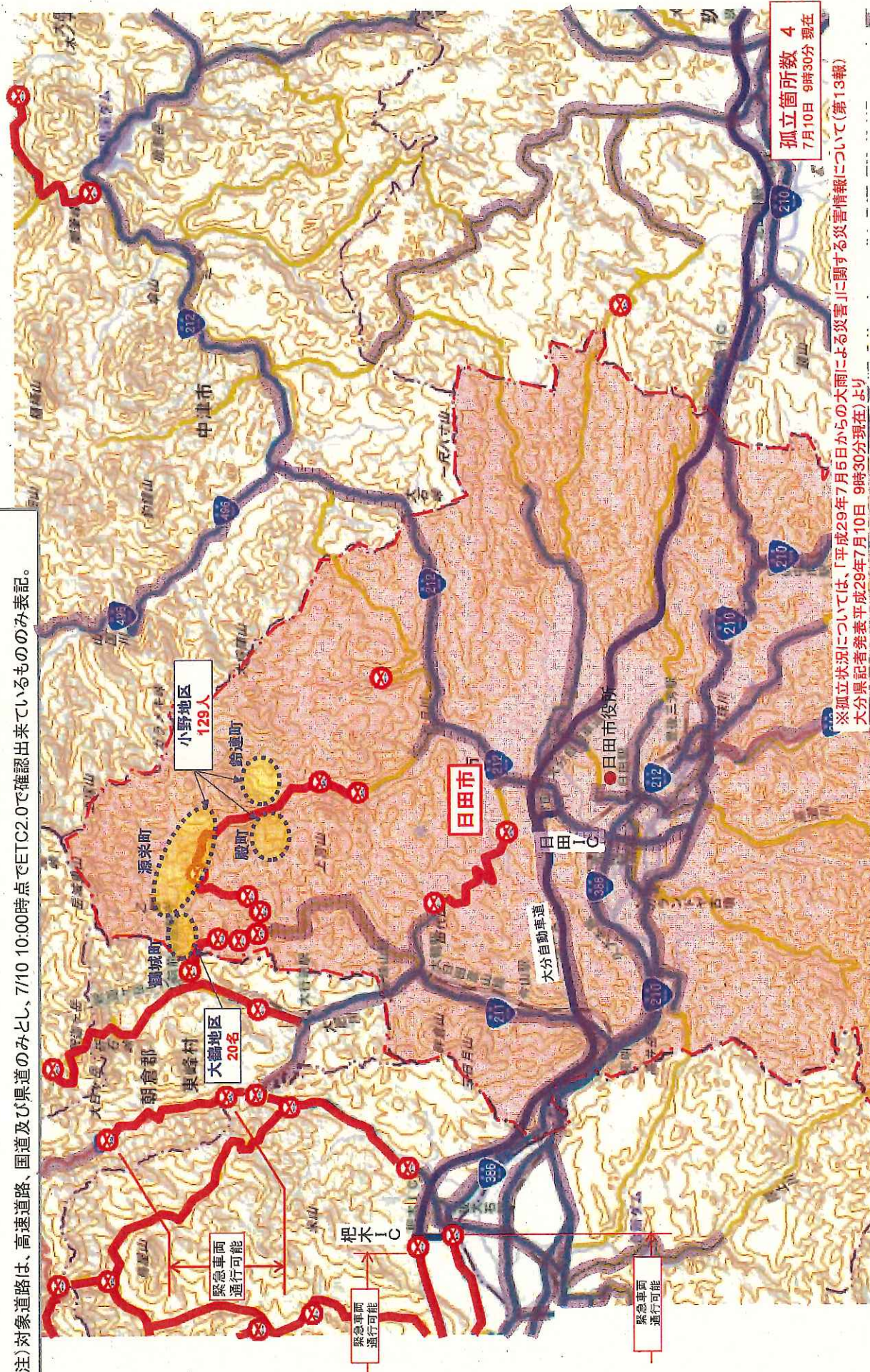
※孤立状況については、「7月5日からの大雨に関する情報(第22報)」福岡県記者発表(平成29年7月10日 10時50分時点)より

日田市孤立状況・通れるマップ

2017年7月10日(月)12:00時点

- 通行可能区間:
- 通行不能区間:
- 孤立箇所:
- 土砂崩落等被災箇所:

注)対象道路は、高速道路、国道及び県道のみとし、7/10 10:00時点でETC2.0で確認出来ているもののみ表記。



※孤立状況については、「平成29年7月5日からの大雨による災害」に関する災害情報について(第13報)
大分県記者発表平成29年7月10日 9時30分現在)より

6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び台風第3号に対する TEC-FORCE等の活動状況



④国道211号の道路啓開状況（東峰村）（7月8日）



⑥宝珠山川中尾橋の応急復旧検討（東峰村）
（7月9日）



⑤奈良ヶ谷川の被害状況調査（朝倉市）
（7月8日）



①東峰村岩屋地区の土砂災害の被害状況調査
（7月8日）



⑦日田市小野地区の斜面崩壊状況調査
（小野川で河道閉塞が発生）（7月7日）



③河川・道路の被害状況調査（朝倉市）
（7月8日）※写真は県道52号



②赤谷川の被害状況をドローン調査
（朝倉市）（7月7日）

■ TEC-FORCEの派遣状況（7月10日）
東峰村、朝倉市、日田市 34班 130人

東峰村	9班	31人
被災状況調査(河川)	3班	12人
被災状況調査(道路)	1班	4人
被災状況調査(砂防)	1班	4人
応急対策班(道路啓開)	1班	4人
現地支援班等	3班	7人
朝倉市	14班	58人
被災状況調査(河川)	6班	27人
被災状況調査(道路)	2班	8人
被災状況調査(砂防)	4班	18人
現地支援班等	2班	5人
日田市	11班	41人
被災状況調査(河川)	4班	19人
被災状況調査(道路)	1班	4人
被災状況調査(砂防)	1班	6人
応急対策班	2班	5人
現地支援班等	3班	7人

6月30日からの梅雨前線に伴う大雨 及び平成29年台風第3号による被害状況等について

※これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

※下線部は、前回からの変更箇所。

平成29年7月10日
14時00分現在
内閣府

1 気象状況（気象庁情報：7月10日13:00現在）

(1) 気象の概況と見通し

【概況】

- 朝鮮半島付近にある梅雨前線に向かって南から暖かく湿った空気が流れ込み、九州北部地方では大気の状態が不安定となっている。
- これまでの1時間の最大雨量は、福岡県朝倉（あさくら）で129.5ミリ、長崎県芦辺（あしべ）で93.5ミリ、高知県大栃（おおどち）と大分県日田（ひた）で87.5ミリの1時間降水量を観測するなど猛烈な雨となったところがある。
- これまでの24時間の最大雨量は、福岡県朝倉で545.5ミリ、長崎県芦辺で432.5ミリ、大分県日田で370.0ミリとなるなど、九州北部地方では350ミリを超える記録的な大雨となっている地域がある。

【見通し】

- 明日11日にかけても、大気的不安定な状態が続く見込み。今日10日、明日11日共に曇りで、午後は局地的に雷を伴い、1時間に30ミリ以上の激しい雨の降る所がある見込み。12日（水）も前線や湿った空気の影響で雨が降る見込み。

- 今日10日の1時間雨量（多い所）は、以下の通り。

熊本県 40ミリ

福岡県、長崎県、佐賀県、大分県、山口県 30ミリ

- これまでの大雨で地盤の緩んでいる地域や、すでに災害が発生している地域は、雨が降ることで更に危険な状況となるおそれ。土砂災害に厳重に警戒。河川の増水や氾濫、低い土地の浸水、落雷、竜巻などの激しい突風にも注意。
- なお、しばらくの間は最高気温及び最低気温とも平年より高めに推移することが予想され、暖かく湿った空気により湿度も高いと考えられるため、熱中症など健康管理にも注意。

(2) 大雨等の状況（6月30日0時～7月10日13時）

・主な1時間降水量（アメダス観測値）

福岡県	朝倉市	朝倉	129.5ミリ	5日15時38分まで
長崎県	壱岐市	芦辺	93.5ミリ	30日0時02分まで
高知県	香美市	大栃	87.5ミリ	1日3時50分まで
大分県	日田市	日田	87.5ミリ	5日18時44分まで
静岡県	静岡市駿河区	静岡	84.5ミリ	4日21時42分まで
島根県	浜田市	波佐	82.0ミリ	5日2時45分まで
長崎県	南島原市	口之津	82.0ミリ	6日6時35分まで

熊本県	阿蘇市	阿蘇乙姫	81.5 ミリ	4日 10時 23分まで
鹿児島県	鹿児島郡十島村	平島	78.0 ミリ	5日 10時 22分まで
茨城県	常総市	常総	72.5 ミリ	4日 22時 14分まで

・主な24時間降水量（アメダス観測値）

福岡県	朝倉市	朝倉	545.5 ミリ	6日 11時 40分まで
長崎県	壱岐市	芦辺	432.5 ミリ	30日 6時 20分まで
大分県	日田市	日田	370.0 ミリ	6日 10時 50分まで
島根県	浜田市	波佐	369.5 ミリ	5日 10時 50分まで
島根県	浜田市	弥栄	351.0 ミリ	5日 10時 50分まで
広島県	山県郡北広島町	八幡	329.0 ミリ	5日 10時 50分まで
佐賀県	杵島郡白石町	白石	328.5 ミリ	6日 22時 30分まで
熊本県	上益城郡山都町	山都	302.0 ミリ	7日 4時 00分まで
鹿児島県	鹿屋市	吉ヶ別府	295.0 ミリ	8日 12時 50分まで
大分県	中津市	耶馬溪	292.5 ミリ	6日 8時 40分まで

・主な期間降水量（アメダス観測値）

福岡県	朝倉市	朝倉	660.0 ミリ
長崎県	壱岐市	芦辺	567.5 ミリ
熊本県	上益城郡山都町	山都	<u>522.0 ミリ</u>
大分県	日田市	日田	500.0 ミリ
佐賀県	杵島郡白石町	白石	489.5 ミリ
熊本県	阿蘇郡南阿蘇村	阿蘇山	484.0 ミリ
島根県	浜田市	弥栄	480.0 ミリ
熊本県	阿蘇市	阿蘇乙姫	476.5 ミリ
島根県	浜田市	波佐	474.0 ミリ
長野県	北安曇郡白馬村	白馬	467.5 ミリ

(3) 強風の状況（6月30日0時～7月5日24時）

・主な風速（アメダス観測値）

高知県	室戸市	室戸岬	38.4m/s	(南西)	4日 14時 51分
東京都	三宅村	三宅坪田	29.1m/s	(南南西)	4日 22時 24分
長崎県	長崎市	野母崎	27.2m/s	(南東)	4日 7時 24分
東京都	神津島村	神津島	25.1m/s	(南西)	4日 22時 19分
沖縄県	石垣市	盛山	23.5m/s	(南)	3日 1時 50分
長崎県	雲仙市	雲仙岳	23.2m/s	(西北西)	4日 9時 15分
熊本県	宇城市	三角	23.1m/s	(南西)	4日 9時 02分
大分県	佐伯市	蒲江	22.8m/s	(南)	4日 11時 19分
沖縄県	石垣市	石垣島	22.2m/s	(南西)	3日 1時 58分
和歌山県	東牟婁郡串本町	潮岬	20.9m/s	(西南西)	4日 17時 30分

・主な瞬間風速（アメダス観測値）

高知県	室戸市	室戸岬	45.0m/s	(南西)	4日 14時 49分
長崎県	雲仙市	雲仙岳	42.1m/s	(西北西)	4日 9時 08分

長崎県	長崎市	野母崎	41.6m/s	(南東)	4日 7時 23分
熊本県	阿蘇郡南阿蘇村	阿蘇山	41.1m/s	(南南西)	4日 10時 07分
東京都	三宅村	三宅坪田	37.0m/s	(南南西)	4日 22時 16分
大分県	佐伯市	蒲江	36.8m/s	(南)	4日 11時 13分
熊本県	宇城市	三角	36.0m/s	(南西)	4日 8時 59分
東京都	神津島村	神津島	34.5m/s	(南西)	4日 22時 14分
熊本県	天草市	本渡	32.7m/s	(南)	4日 8時 18分
和歌山県	東牟婁郡串本町	潮岬	32.5m/s	(西南西)	4日 17時 26分

2 人的・物的被害の状況（消防庁情報：7月10日13:30現在）

(1) 人的・物的被害

都道府県名	人的被害				住家被害					非住家被害	
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
			重傷	軽傷							
人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
福島県									1		
茨城県									7		
千葉県									3		
新潟県			1	1			2	3	51		
富山県								2	15		
石川県							1		13		
長野県							1				
岐阜県							3	1	23		
静岡県				2							
愛知県							2	4	6		
和歌山県				1							
鳥取県				1				3	19		
広島県								4	17		
愛媛県				1							
福岡県	18	1	2	8	7	7	26	32	158		6
佐賀県							1	1	71		
長崎県									6		
熊本県				5			7	5	19		
大分県	3		1	5	7	8	16	91	131		10
合計	21	1	4	24	14	15	59	146	540		16

《死者の状況》

【福岡県】

- ・ 1名（朝倉市杷木地区：60代男性。巡回中の消防団員が発見し、死亡を確認（7月6日））
- ・ 2名（朝倉市山田地区：80歳代男性、80歳代女性を発見（7月6日））
- ・ 1名（朝倉市宮野地区：70歳代男性（7月7日））
- ・ 1名（朝倉市杷木地区：20歳代男性。捜索中の警察官が発見し、死亡を確認（7月7日））

- ・ 2名（東峰村：80歳代男性、80歳代女性。岩屋地区付近を捜索中の警察及び自衛隊が、発見し、死亡を確認（7月8日））
- ・ 3名（朝倉市黒川地区：60歳代女性、20歳代女性、男児を消防が捜索中に発見し、死亡を確認（7月8日））
- ・ 1名（朝倉市杷木林田：年齢不詳の女性を消防団員が発見し、死亡を確認（7月8日））
- ・ 1名（朝倉市杷木林田：30歳代女性を一般市民が発見し、死亡を確認（7月8日））
- ・ 1名（朝倉市杷木松末：年齢不詳の女性を発見し、死亡を確認（7月8日））
- ・ 1名（朝倉市杷木松末：年齢不詳の女性を発見し、死亡を確認（7月8日））
- ・ 1名（朝倉市杷木池田：年齢不詳の女性を発見し、死亡を確認（7月8日））
- ・ 2名（朝倉市：年齢不詳の女性2名を発見し、死亡を確認（7月9日））
- ・ 1名（東峰村：年齢不詳の女性を発見し、死亡を確認（7月9日））

【大分県】

- ・ 1名（日田市：40歳代男性が崩土巻き込まれ、その後、死亡を確認（7月6日））
- ・ 1名（日田市：70歳代男性君迫川で発見、その後、死亡を確認（7月6日））
- ・ 1名（日田市：70歳代女性を田代川で発見、その後、死亡を確認（7月7日））

《行方不明者の状況》

【福岡県】

- ・ 1名（東峰村：詳細確認中）

《連絡が取れない者の状況》

【福岡県】

- ・ 26名（朝倉市：詳細確認中）

《重傷者の状況》

【新潟県】

- ・ 1名（糸魚川市：60歳代男性が用水路に転落し骨折（7月1日））

【福岡県】

- ・ 2名（東峰村：40～50歳代女性と10歳代男性の親子が家屋に入ってきた土砂により受傷（7月6日））

【大分県】

- ・ 1名（佐伯市で70歳代女性が風にあおられ転倒し右腕骨折疑い（7月4日））

(2) 孤立の状況等

【福岡県】

- ・ 東峰村 岩屋地区 13世帯 28名
※ただし徒歩での往来は可能。なお、この28名は自らの意思で残留

【大分県】

- ・ 日田市 小野地区 3箇所 約129名
大鶴地区 1箇所 約20名
※上記の2地区については、電気・水道などのライフラインは問題なく、住民は自らの意思で残留。

3 避難の状況（消防庁情報：7月10日 12:30 現在発令中のもの）

都道府県名	市区町村名	避難指示(緊急)		避難勧告	
		対象世帯数	対象人数	対象世帯数	対象人数
福岡県	朝倉市	115	316	21,256	54,412
	小計	115	316	21,256	54,412
大分県	中津市			4	7
	日田市	1,842	4,990	4,093	10,229
	小計	1,842	4,990	4,097	10,236
合 計		1,957	5,306	25,353	64,648

4 避難所の状況（消防庁情報：7月10日 13:30 現在）

【福岡県】

・ 24箇所 1,356名（7月10日 9時00分現在）

【熊本県】

※現時点で避難者なし

【大分県】

・ 10箇所 375名（7月10日 6時30分現在）

都道府県名	市区町村名	避難所数	避難者数
福岡県	北九州市	4	14
	朝倉市	10	1,027
	東峰村	9	313
	添田町	1	2
	計	24	1,356
大分県	中津市	1	2
	日田市	9	373
	計	10	375
合 計		34	1,731

5 その他の状況

(1) ライフラインの状況

ア 電力（経済産業省情報：7月9日 17:00 現在）

○九州電力

停電状況：約 900 戸

福岡県：約 900 戸（朝倉市 約 700 戸、東峰村 約 100 戸）

※進入可能な区域については、復旧を完了。進入可能になった箇所から、順次復

旧予定。

※東峰村：大字福井、大字宝珠山

朝倉市：黒川、佐田、杷木 赤谷、杷木 志波、杷木 松末

大分県：復旧完了（8日17時49分）

※水没箇所除く

設備被害状況：夜明ダム（大分県日田市）の管理所が損壊（運転には支障なし）

- ・福岡県、大分県及び両県内市町村の防災担当部局に対し、水没した太陽電池発電設備による感電防止について、注意喚起文書を発出（6日12:02）
- ・電源車は現在は1台のみ稼働、8台待機中。（九電のみで59台の電源車を保持）

イ 一般ガス（経済産業省情報：7月9日17:00現在）

- ・現時点で被害情報なし

ウ 水道（厚生労働省情報：7月10日13:00現在）

①断水の状況

- ・福岡県2市村で2,308戸、大分県1市で63戸が断水。（前回報告比±0戸）

※ 被害報告のあった地域を記載

県、市町村名	最大断水戸数	現在の断水戸数	断水期間	被害状況
【福岡県】 朝倉市 （あさくらし）	1,654戸	1,654戸	7/6～	杷木（はき）浄水場の浸水被害により断水
東峰村 （とうほうむら）	654戸	654戸	7/6～	浄水場に土砂流入及び管路破損により断水
小計	2,475戸	2,308戸		
【大分県】 日田市 （ひたし）	512戸	63戸	7/6～	取水施設水没及び配水管破損による断水
小計	542戸	63戸		
合計	3,027戸	2,371戸		

- ・大分県玖珠町、熊本県南阿蘇村・南小国町については、7月6日、福岡県添田町については、7月7日に、それぞれ断水解消。なお、表中の最大断水戸数はこれらの市町村での断水戸数を含む値である。

②応急給水の状況

【福岡県】

- ・朝倉市は、給水車5台が応急給水対応中（北九州市2台、福岡市2台及び久留米市1台）。
- ・東峰村は、自衛隊の給水車が小石原（こいしわら）庁舎に1台、宝珠山（ほうしゅやま）地区に3台及び鶴（つる）地区に1台、千代丸（ちよまる）地区に9台、竹（たけ）地区に2台のほか、市所有タンク2台応急給水対応中。また、鼓（つづみ）地区でペットボトル水、給水袋を配布済み。

【大分県】

・日田市は、北部地区で給水車2台が応急給水対応中（自衛隊2台）。

③ 応急復旧の状況

【福岡県】

・朝倉市は、杷木（はき）浄水場内にながれき（土砂や流木）が堆積しており、早期に撤去する必要があるが、河川の流れが変わってしまったことで場内に進入できない状況のため、国交省・自衛隊にながれき撤去及び進入路の確保を要請。

軽自動車がかろうじて通れる林道を使い、7月10日から小型の重機にてながれきの撤去を進め、沈殿池及びろ過池の水抜き等により詳細な被害状況を確認するとともに、取水ポンプの動作確認のための電源確保、消毒等の仮設設備の手配等を進める予定。自衛隊員も浄水場内において、人力でながれき撤去作業中。

進入路が確保され大型の重機が搬入できるようになってから、2週間を目途に部分復旧を目指す。

・東峰村は、福岡県を通じ、日本水道協会に応急復旧の応援を要請。7月9日に北九州市が到着し、被災した4地区（鶴地区、鼓地区、竹地区、千代丸地区）の応急復旧に向け、現地調査を行うとともに、復旧方法を検討。鶴地区、鼓地区については、管路が破損しており、今週中を目途に仮復旧を目指す。竹地区については、土砂災害により浄水場へ進入できず、千代丸地区については、導水管が破損しているため、仮設設備を設置し、両地区とも2週間を目途に仮復旧を目指す。

【大分県】

・日田市の日ノ本簡易水道、山田簡易水道、祝原簡易水道、川崎簡易水道、北部簡易水道の一部（土砂ダムによる立ち入り禁止区域を除く）について、応急復旧済み。

土砂ダムによる立ち入り禁止区域となっている北部簡易水道の一部については、解除を待って復旧すべく資機材等を手配済み。

殿町簡易水道は、7月9日自衛隊へりに日田市の水道担当職員2人が随行し調査を行い断水が判明。原因の特定に至らなかったため、7月10日に再度現地調査を実施予定。

エ 通信関係（総務省情報：7月10日13:00現在）

	事業者（サービス名）	被害状況等	最大被害数（注4）
固定（注1）	NTT西日本	<ul style="list-style-type: none"> 福岡県：復旧済み 大分県で約245回線が使用できない状態（日田市の一部） （電話等約240回線、専用線等3回線） →日田小野ビルについて、現地調査（自衛隊へり）を9日（日）実施し、浸水、 	<ul style="list-style-type: none"> 福岡県で約1,220回線が使用できない状態（朝倉市、朝倉郡東峰村の一部） （電話等約790回線、フレッツ光等約400回線、専用線等約30回線） 大分県で約245回線が使用できない状態（日田市の一部） （電話等約240回線、専用線等

	<p>停電がないことを確認済み。中継光ケーブルの破断点も特定し、10日(月)朝より迂回ルートへのケーブル敷設を実施し、安全に留意しながら10日(月)中のサービス回復を目指し作業を進める予定。</p>	3回線)
NTTコミュニケーションズ	・被害無し。	・被害無し。
KDDI	・被害無し。	・被害無し。
ソフトバンク	・被害無し。	・被害無し。
携帯電話等(注2・3)	<p>NTTドコモ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・22局停波 (福岡県朝倉市及び朝倉郡東峰村の一部で9局、熊本県：1局、大分県12局) ・孤立地域である東峰村宝珠山地区について、東峰村役場(宝珠山庁舎)に移動基地局車を設置。東峰村役場(小石原庁舎)については、基地局復旧によりエリアカバー済。 停波局について、道路開通後に順次現地入りし復旧対応実施予定。 ※福岡県朝倉市、朝倉郡東峰村、熊本県阿蘇郡小国町、大分県日田市の一部にてエリアカバーされていないことを確認。 ※役場エリアについてはサービス影響なし。 	<ul style="list-style-type: none"> ・42局停波 (福岡県朝倉市及び朝倉郡東峰村の一部で17局、佐賀県：3局、長崎県：6局、熊本県：1局、大分県15局) ・孤立地域である東峰村宝珠山地区について、基地局停波のためカバーできていない。 →通行止めにより現地に立入りできない状況。 ※福岡県朝倉市、朝倉郡東峰村、田川郡添田町、佐賀県武雄市、唐津市、三養基郡みやき町、長崎県壱岐市、熊本県阿蘇郡小国町、大分県大分市、日田市、中津市の一部にてエリアカバーされていないことを確認。東峰村役場においてエリアカバーされていないことを確認。それ以外の役場エリアについてはサービス影響なし。
	<p>KDDI (au)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6局停波 福岡県朝倉市及び朝倉郡東峰村で4局 →東峰村に移動基地局車が到着し、運用開始。役場 	<ul style="list-style-type: none"> ・27局停波 福岡県朝倉市及び朝倉郡東峰村で11局並びに大分県杵築市、豊後大野市の一部で8局

		<p>エリア（宝珠山^{ほうしゅやま}庁舎及び小石原^{こいしわら}庁舎）のサービス仮復旧。一部エリアにおいてエリアカバー支障継続中。</p> <p>東峰村^{とうほうむら}宝珠山^{ほうしゅやま}庁舎エリアをカバーする基地局は8日（土）確認でき、回線は異常なし。復電すれば復旧可能だが、車両が入れないため、復旧見通しが立たない。</p> <p>朝倉市^{あさくらし}の停波中の基地局はいずれも現地に入れられない状況。道路開通後に順次現地入りし復旧対応実施予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県：2局が停波。大分県^{ひたちし}白田市の一部において、エリアカバーされていないことを確認。いずれも現地に入れられない状況。道路開通後に順次現地入りし復旧対応実施予定。 <p>※役場エリアについてはサービス影響なし。</p>	<p>→東峰村^{とうほうむら}に移動基地局車を向かわせているが、通行止めにより東峰村近くで待機中。東峰村^{とうほうむら}に移動基地局車を設置することで、宝珠山^{ほうしゅやま}地区もカバーできる可能性が高い。</p> <p>※佐賀県：2局、長崎県：4局、熊本県：3局が停波し大分県^{なかつし}中津市、<u>白田市</u>^{ひたちし}の一部において、エリアカバーされていないことを確認</p> <p>※朝倉郡^{あさくらぐん}東峰村^{とうほうむら}役場がエリアカバーされていない状況。それ以外の役場エリアについてはサービス影響なし。</p>
ソフトバンク		<ul style="list-style-type: none"> ・12局停波 <p>（福岡県朝倉市及び東峰村の一部で10局、大分県：2局）</p> <p>※朝倉郡^{あさくらぐん}東峰村^{とうほうむら}役場（宝珠山^{ほうしゅやま}庁舎）について、移動基地局車により仮復旧。朝倉郡^{あさくらぐん}東峰村^{とうほうむら}役場（小石原^{こいしわら}庁舎）について、基地局復旧によりエリアカバー済み。</p> <p>※大分県^{ひたちし}白田市の一部にてエリアカバーされていないことを確認。</p> <p>※東峰村^{とうほうむら}宝珠山^{ほうしゅやま}庁舎エリア</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・51局停波 <p>（福岡県朝倉市及び東峰村の一部で26局、佐賀県：3局、長崎県で7局、熊本県で3局、大分県で14局）</p> <p>→数班が現地の局に向かったが、通行止めにより近隣で待機中。</p> <p>※大分県^{なかつし}中津市、<u>白田市</u>^{ひたちし}の一部にてエリアカバーされていないことを確認。朝倉郡^{あさくらぐん}東峰村^{とうほうむら}役場がエリアカバーされていない状況。</p> <p>※佐賀県、長崎県、熊本県に</p>

		<p>をカバーする基地局は現場の確認はできており、復電次第（回線は復電しないと確認できない。）。</p> <p>それ以外の基地局については現地に入れない状況。道路開通後に順次現地入りし復旧対応実施予定。</p> <p>※役場エリアについてはサービス影響なし。</p>	<p>おいては周辺局でカバーされており、サービスエリアに影響なし。</p>
--	--	---	---------------------------------------

○主な原因は停電及び伝送路断

(注1) 事業者が把握可能な範囲の情報を記載

(注2) 携帯電話等事業者が設置している基地局数は各社で異なり、停波中の基地局数は、サービス影響の規模を直接表すものではない

(注3) 携帯電話については、一部役場エリアでカバーされていないところあり。

(注4) 総務省への報告値の中で最大のもの(被害局数の最大値と県ごとの被害局数の最大値)を記載

オ 高圧ガス・火薬類関係（経済産業省情報：7月9日 17:00 現在）

現時点で被害情報なし

カ 石油（製油所・油槽所、備蓄基地）関係（経済産業省情報：7月9日 17:00 現在）

現時点で被害情報なし

キ 石油（SS）関係（経済産業省情報：7月9日 17:00 現在）

- ・福岡県内の2ヶ所のSSで浸水等の影響により営業停止を確認。その他については、現時点で被害情報なし。

福岡県（全978SS） 朝倉市内2SS

- ・営業停止中のSSについて、営業災害の目途はついていない。ただし、周辺地域に繋がる道路は確保されており住民の混乱も生じていない。

- ・他の営業中SSにおいて燃料不足による混乱や行列は生じていない。

ク LPガス供給関連施設関係（経済産業省情報：7月9日 17:00 現在）

- ・需要側設備

家屋崩壊等によりLP容器が流出したとの情報あり（福岡県添田町1件、東峰村4件）。関係団体が、住民向けに発見時の対処について、注意喚起を実施。

ケ 放送関係（総務省情報：7月10日 13:00 現在）

<地上放送>

- ・現時点で被害情報なし

- ・孤立集落である東峰村宝珠山地区での視聴の可否

○テレビ（NHK総合・教育、民放5社）：宝珠山中継局（エリア内世帯数501世帯）

でカバーされ、予備電源（バッテリー）にて放送継続中するもバッテリー切れにより停波。

→7日、発電機持込みにより放送復旧済み(NHKは16時12分、民放は16時23分)。

→その後、商用電源復旧により通常運用に切替済み(民放は8日、NHKは9日9時50分)。

○ラジオ(AM):親局運用中のため、受信可能

- ・NHK及び熊本民放4社の御所浦嵐口局(テレビ:天草市)が落雷による電源部故障により6日(木)19時50分より停波していたが、電源部の補修により同日23時25分に復旧済み。

<コミュニティ放送>

○(株)ゆふいんラヂオ局五ヶ瀬中継局

- ・土砂災害等によるNTT専用回線の回線設備の故障により影響(推定)。8,076世帯に影響。→NTTにて、回線設備を交換して、7月6日13:30に本復旧。

<ケーブルテレビ>

【大分県】

○日田市

- ・小野地区で、幹線障害により265世帯に障害。土砂によるダム状態となっているため、復旧困難。
- ・大鶴地区で、幹線障害により103世帯に障害。→順次復旧中。
- ・その他地区で3世帯に障害。→順次復旧中。

○中津市

- ・三国地区で、土砂災害による障害が発生。→復旧作業中。
- ・本耶馬溪地区で、落雷によって2世帯で被害。→復旧済み。
- ・耶馬溪地区で、2世帯に障害。→調査・復旧中。

【福岡県】

○東峰村

- ・幹線が3ヶ所で断線。→仮復旧済み。

○(株)Q T n e t (旧:九州通信ネットワーク(株))

- ・ケーブル断線(推測)による障害が継続中(福岡甘木地区3回線、大分日田地区21回線)

【熊本県】

○南小国町

- ・黒川地区、中原地区において落雷による保安器の故障により10世帯に障害。→復旧済み。

○天草ケーブルネットワーク(株)無線機器故障

- ・落雷により無線機器が故障(影響世帯:30世帯)。

(2) 原子力施設関係の状況(原子力規制庁調べ:7月10日4:32現在)

- ・被害情報なし

(3) 土砂災害（国土交通省情報：7月10日 12:00 現在）

ア 土石流等

都道府県名	市町村名	人的被害			建物被害				公共被害状況等
		死者	行方不明者	負傷者	人家			非住家	
					全壊	半壊	一部損壊		
新潟県	十日町市	1件	-	-	-	-	-	-	市道に土砂流出
	柏崎市	2件	-	-	-	-	-	-	
富山県	魚津市	2件	-	-	-	-	-	-	
	氷見市	3件	-	-	-	-	-	-	
長野県	長野市	1件	-	-	-	-	-	-	
	小川村	1件	-	-	-	-	-	-	村道へ土砂流出
石川県	能登町	1件	-	-	-	-	-	-	1戸 町道に土砂流出
	金沢市	1件	-	-	-	-	-	-	
	白山市	1件	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	高山市	1件	-	-	-	-	-	-	
	恵那市	1件	-	-	-	-	-	-	市道に土砂流出
	飛騨市	1件	-	-	-	-	-	-	
福岡県	東峰村	4件	-	-	2名	2戸	-	-	
	朝倉市	4件	-	-	-	-	-	-	8名避難中
熊本県	南小国町	1件	-	-	-	-	-	-	
大分県	中津市	1件	-	-	-	3戸	-	1戸	
	日田市	2件	1名	-	2名	-	-	7戸	被災戸数については調査中
合計	28件		1名	名	4名	5戸	戸	8戸	1戸

※なお、大分県日田市小野地区において、山腹崩壊による河道閉塞が発生。大量の崩土や浸水により被害が生じており、現在調査中

イ 地すべり

都道府県名	市町村名	人的被害			建物被害				公共被害状況等
		死者	行方不明者	負傷者	人家			非住家	
					全壊	半壊	一部損壊		
新潟県	糸魚川市	6件	-	-	-	-	-	-	下流の3世帯11名が付近の温泉施設へ自主避難。
	妙高市	1件	-	-	-	-	-	-	
	上越市	1件	-	-	-	-	-	1戸	
	長岡市	1件	-	-	-	-	-	-	
	柏崎市	2件	-	-	-	-	-	-	1世帯3人自主避難
	阿賀町	1件	-	-	-	-	-	-	
	十日町市	2件	-	-	-	-	-	-	
	出雲崎町	1件	-	-	-	-	-	-	
富山県	魚沼市	1件	-	-	-	-	-	-	
	高岡市	1件	-	-	-	-	-	-	
	小矢部市	1件	-	-	-	-	-	-	
石川県	氷見市	1件	-	-	-	-	-	-	
	金沢市	1件	-	-	-	-	-	-	
石川県	輪島市	1件	-	-	-	-	-	-	
	輪島市	1件	-	-	-	-	-	-	
合計	21件		名	名	名	戸	戸	戸	1戸

ウ かけ崩れ

都道府県名	市町村名	人的被害			建物被害			公共被害状況等		
		死者	行方不明者	負傷者	人家		非住家			
					全壊	半壊			一部損壊	
新潟県	25件	三條市	6件	-	-	-	-	1戸	1世帯2人自主避難中	
		上越市	3件	-	-	-	-	-	-	-
		柏崎市	7件	-	-	-	-	3戸	1戸	-
		出雲崎町	1件	-	-	-	-	-	-	-
		五泉市	1件	-	-	-	-	1戸	-	-
		魚沼市	1件	-	-	-	-	-	-	-
		佐渡市	1件	-	-	-	-	-	1戸	-
富山県	1件	黒部市	1件	-	-	-	-	-	-	
石川県	10件	七尾市	1件	-	-	-	-	1戸	-	
		羽咋市	3件	-	-	-	-	-	-	
		かほく市	1件	-	-	-	-	-	-	
		志賀町	1件	-	-	-	-	-	-	
		宝達志水町	2件	-	-	-	-	-	-	
		能登町	1件	-	-	-	-	-	-	
岐阜県	5件	恵那市	3件	-	-	-	-	1戸	-	
		瑞浪市	1件	-	-	-	-	-	-	
		土岐市	1件	-	-	-	-	-	-	
和歌山	2件	那智勝浦町	1件	-	-	-	-	1戸	家屋1戸に土砂流入し、近隣住民6世帯12名が那智勝浦役場に避難。	
		田辺市	1件	-	-	-	-	1戸	-	
鳥根県	15件	益田市	15件	-	-	-	-	7戸	5戸	
広島県	10件	広島市	2件	-	-	-	-	-	-	
		東広島市	1件	-	-	-	-	-	-	
		三原市	1件	-	-	-	-	-	-	
		北広島町	3件	-	-	-	-	-	-	
		福山市	2件	-	-	-	-	-	-	
山口県	1件	周南市	1件	-	-	-	-	-	-	
		佐川町	1件	-	-	-	-	-	-	
高知県	2件	四万十町	1件	-	-	-	-	-		
福岡県	2件	朝倉市	2件	-	2名	-	-	-	-	
佐賀県	1件	有田町	1件	-	-	-	-	1戸	JR佐世保線に土砂流入	
熊本県	16件	南小国町	7件	-	-	-	-	3戸	-	
		宇土市	2件	-	-	-	-	-	-	
		上天草市	1件	-	-	-	-	-	-	
		大津町	1件	-	-	-	-	-	-	
		小国町	1件	-	-	-	-	-	-	
		天草市	1件	-	-	-	-	-	-	
		山鹿市	1件	-	-	-	-	-	-	
		玉名市	1件	-	-	-	-	-	-	
大分県	7件	南関町	1件	-	-	-	-	-	-	
		日田市	4件	-	-	-	-	1戸	-	
		中津市	1件	-	-	-	-	-	-	
		大分市	1件	-	-	-	-	-	-	
長崎県	22件	豊後大野市	1件	-	-	-	-	-	-	
		壱岐市	16件	-	-	-	1戸	-	1世帯5人自主避難中	
		長崎市	1件	-	-	-	-	-	2世帯自主避難中	
		大村市	1件	-	-	-	-	-	-	
		佐世保市	4件	-	-	-	-	-		
合計	119件			名	2名	名	1戸	戸	22戸	7戸

(4) 河川 (国土交通省情報：7月10日 12:00 現在)

ア 国管理河川

一般被害

整備局	水系	河川	市町村	浸水家屋数			家屋損壊数		田畑等浸水		被害状況
				原因	床上 (戸)	床下 (戸)	原因	全壊 (戸)	半壊 (戸)	原因	
中国	ゴウノカワ 江の川	ゴウノカワ 江の川	ミヨシシ 三次市	溢水		1					
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水		20			溢水	0.8	右岸23.7k
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水		1			溢水	1	左岸24.6k 町道冠水
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水		13			溢水	1	左岸25.8k
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水	3	9			溢水	1	左岸30.0k 県道52号冠水
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水	7	0			溢水	2	左岸31.0k
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水	1	3			溢水	1	左岸31.5k 県道52号冠水
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水	1	0			溢水	0.1	左岸32.6k 旧ドライブイン損壊 事業所1戸浸水
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水	2	2			溢水	0.6	34.0k 廃屋1戸倒壊
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	溢水	1	2			溢水	0.3	34.2k
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町								34.2k 旧彦山橋流出
九州	チクゴガワ 筑後川	コシシラガワ 小石原川	タチアライマチ 大刀洗町	調査中			調査中		溢水	調査中	左岸0.2k
九州	チクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市								左岸1.8k 川沿いの小屋1戸流出
九州	チクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市								2.7k JR久大線「鉄道橋」流出
九州	チクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市								右岸5.9k坂本橋条件護岸流出
九州	チクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	溢水	調査中	調査中	調査中		調査中		右岸7.6k
九州	ヤマクニガワ 山国川	ヤマクニガワ 山国川	ナカツシ 中津市						溢水	1.0	右岸18.8k 国道212号一部損壊
九州	ヤマクニガワ 山国川	ヤマクニガワ 山国川	ナカツシ 中津市								左岸20.1k 農業用水路橋流出
九州	ヤマクニガワ 山国川	ヤマクニガワ 山国川	ナカツシ 中津市						溢水	0.2	右岸25.4k、事業所2戸浸水
九州	ヤマクニガワ 山国川	ヤマクニガワ 山国川	ナカツシ 中津市						溢水	0.2	右岸27.0k 国道212号一部損壊

※国管理河川においては、浸水は全て解消済み。

河川管理施設等被害

整備局	水系	河川	市町村	地点		被害状況		対策状況
				左右岸	KP	状態	数量(約)	
関東	アヲカワ 荒川	イルマガワ 入間川	カワゴエシ 川越市	右	0k	堤防法崩れ すべり	L=14m	応急対策完了
北陸	シナノガワ 信濃川	シナノガワ 信濃川	ニイガタシ 新潟市	左	6.0k+150m	堤防法崩れ すべり	L=20m	応急対策完了
北陸	ヒメカワ 姫川	ヒメカワ 姫川	イトイガワシ 糸魚川市	左	2.2k+10m	河岸侵食	L=60m	応急対策完了
北陸	クロベガワ 黒部川	クロベガワ 黒部川	クロベシ 黒部市	左	7.4k	河岸侵食	L=25m	応急対策完了
北陸	クロベガワ 黒部川	クロベガワ 黒部川	クロベシ 黒部市	右	16.0k	河岸侵食	L=55m	応急対策完了
北陸	カケハシガワ 梯川	カケハシガワ 梯川	コマツシ 小松市	右	10.7k	河岸の法崩れ	L=20m	応急対策完了
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒコサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	左	27.9k	護岸損壊	L=20m	調査中
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒコサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	右	30.7k	河岸侵食	L=100m	応急対策中(袋詰め根固め)
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒコサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	左	31.2k	護岸損壊	L=100m	調査中
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒコサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	左	31.5k	堤防洗掘	L=30m	緊急復旧完了
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒコサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	右	32.1k	河岸侵食	L=100m	調査中
九州	オンガガワ 遠賀川	ヒコサンガワ 彦山川	ソエダマチ 添田町	左	34.3k	護岸損壊	L=100m	調査中
九州	チクゴガワ 筑後川	チクゴガワ 筑後川	アサクラシ 朝倉市	右	59.6k	護岸損壊	L=10m	調査中
九州	チクゴガワ 筑後川	サダガワ 佐田川	アサクラシ 朝倉市	右	4.5k	護岸損壊	L=15m	応急対策完了(袋詰め根固め)
九州	チクゴガワ 筑後川	サダガワ 佐田川	アサクラシ 朝倉市	右	8.5k	堤防洗掘	L=10m	応急対策完了(根固めブロック)
九州	チクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	左	0.0k	護岸損壊	L=80m	応急対策中(袋詰め根固め)
九州	チクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	左	0.4k	河岸侵食	L=50m	応急対策中(根固めブロック)
九州	チクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	右	0.5k	護岸損壊	L=50m	応急対策中(袋詰め根固め)
九州	チクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	左	0.8k	護岸損壊	L=200m	調査中
九州	チクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	右	1.3k	河岸侵食	L=550m	応急対策中(土砂埋戻)
九州	チクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	左	1.8k	堤防洗掘	L=120m	緊急復旧中
九州	チクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	右	2.8k	堤防洗掘	L=60m	緊急復旧中
九州	チクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	右	5.8k	堤防洗掘	L=80m	応急対策完了(袋詰め根固め)
九州	チクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	左	6.4k	護岸損壊	L=20m	応急対策中(袋詰め根固め)
九州	チクゴガワ 筑後川	カゲツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	右	6.4k	堤防洗掘	L=100m	緊急復旧中
九州	ヤマクニガワ 山国川	ヤマクニガワ 山国川	ナカツシ 中津市	右	18.8k	護岸損壊	L=20m	道路災で対応(全面通行止中)
九州	ヤマクニガワ 山国川	ヤマクニガワ 山国川	ナカツシ 中津市	右	19.8k	堤防洗掘	L=20m	応急対策完了(大型土のう積み)
九州	ヤマクニガワ 山国川	ヤマクニガワ 山国川	ナカツシ 中津市	左	23.2k	護岸損壊	L=100m	調査中
九州	ヤマクニガワ 山国川	ヤマクニガワ 山国川	ナカツシ 中津市	右	26.4k	護岸損壊	L=20m	調査中
九州	ヤマクニガワ 山国川	ヤマクニガワ 山国川	ナカツシ 中津市	左	26.7k	護岸損壊	L=200m	調査中

イ 都道府県管理河川
一般被害

都道府県	水系	河川	市町村	浸水家屋数			家屋損壊数			田畑等浸水		被害状況
				原因	床上 (戸)	床下 (戸)	原因	全壊 (戸)	半壊 (戸)	原因	面積 (約ha)	
新潟県	マエカワ 前川	マエカワ 前川	イトイガワシ 糸魚川市	溢水		5						浸水解消
新潟県	カキザキガワ 柿崎川	オゴウガワ 小河川	ジョウエツシ 上越市							内水	0.5	浸水解消
石川県	サキヤマガワ 崎山川	サキヤマガワ 崎山川	ナナオン 七尾市							溢水	0.5	浸水解消
石川県	ヤマダガワ 山田川	ヤマダガワ 山田川	ノトチョウ 能登町							越水	0.2	浸水解消
岐阜県	ヤハギガワ 矢作川	ヨシダガワ 吉田川	エナシ 恵那市	溢水		1						浸水解消
広島県	アサダガワ 芦田川	テシロガワ 手城川	フクヤマシ 福山市	調査中	1	調査中				調査中	調査中	浸水解消
福岡県	オンガガワ 遠賀川	オンガガワ 遠賀川	カマシ 嘉麻市	溢水+ 内水		1				溢水+ 内水	0.1	浸水解消
福岡県	テクゴガワ 筑後川	タテアライガワ 大刀洗川	タテアライマチ 大刀洗町							溢水	0.1	浸水解消
福岡県	テクゴガワ 筑後川	ジンヤガワ 陣屋川	タテアライマチ 大刀洗町							溢水	調査中	浸水解消
福岡県	テクゴガワ 筑後川	イナハルガワ 荷原川	アサクラシ 朝倉市	決壊	調査中	調査中	決壊	調査中	調査中	決壊	調査中	浸水解消
福岡県	テクゴガワ 筑後川	アカタニガワ 赤谷川	アサクラシ 朝倉市	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	浸水解消
福岡県	テクゴガワ 筑後川	シラキタニガワ 白木谷川	アサクラシ 朝倉市	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	浸水解消
福岡県	テクゴガワ 筑後川	オトシカワ 乙石川	アサクラシ 朝倉市	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	浸水解消
福岡県	テクゴガワ 筑後川	カツラガワ 桂川	アサクラシ 朝倉市	決壊	調査中	調査中	決壊	調査中	調査中	決壊	調査中	浸水解消
福岡県	テクゴガワ 筑後川	ミウケンガワ 妙見川	アサクラシ 朝倉市	越水	調査中	調査中	越水	調査中	調査中	越水	調査中	浸水解消
福岡県	テクゴガワ 筑後川	キタガワ 北川	アサクラシ 朝倉市	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	浸水解消
福岡県	テクゴガワ 筑後川	ナラガタニガワ 奈良ヶ谷川	アサクラシ 朝倉市	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	浸水解消 (普通河川)
福岡県	テクゴガワ 筑後川	イボメガワ 狹目川	アサクラシ 朝倉市	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	調査中
福岡県	テクゴガワ 筑後川	サダガワ 佐田川	アサクラシ 朝倉市	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	調査中
福岡県	テクゴガワ 筑後川	ホウシヤマガワ 宝珠山川	トウホムラ 東峰村	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	調査中
福岡県	テクゴガワ 筑後川	オオヒガワ 大肥川	トウホムラ 東峰村	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	調査中	溢水	調査中	浸水解消
大分県	テクゴガワ 筑後川	オオヒガワ 大肥川	ヒタシ 日田市	溢水	13	2	調査中			溢水	調査中	浸水解消
大分県	テクゴガワ 筑後川	アリタガワ 有田川	ヒタシ 日田市	溢水	10	3	調査中			溢水	調査中	浸水解消
大分県	テクゴガワ 筑後川	オノガワ 小野川	ヒタシ 日田市	調査中	17	調査中	調査中			調査中		大規模な山腹斜面崩壊による河道閉塞に伴う浸水継続中
大分県	テクゴガワ 筑後川	ニクシガワ 二串川	ヒタシ 日田市	溢水	17	4				溢水	調査中	浸水解消
大分県	テクゴガワ 筑後川	ワタリガワ 渡里川	ヒタシ 日田市	溢水	0	9				溢水	調査中	浸水解消
大分県	テクゴガワ 筑後川	ツルコウチガワ 鶴河内川	ヒタシ 日田市	溢水	1					溢水	調査中	浸水解消
大分県	テクゴガワ 筑後川	カヅツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	溢水	1					溢水	調査中	浸水解消
大分県	テクゴガワ 筑後川	カブタニガワ 蕪谷川	ヒタシ 日田市	溢水		1				溢水	調査中	浸水解消
佐賀県	マツウラガワ 松浦川	マツウラガワ 松浦川	タケオン 武雄市							溢水	1.5	浸水解消

河川管理施設等被害

都道府県	水系	河川	市町村	被害状況		対策状況	進捗	
				状態	件数			
新潟県	アサノガワ	阿賀野川	アガマチ	阿賀町	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	シナノガワ	信濃川	ホリミゾガワ	堀溝川	河岸侵食	1	応急対策完了	大型土のう、7/5完了
新潟県	シナノガワ	信濃川	ホリミゾガワ	堀溝川	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	シナノガワ	信濃川	ホリミゾガワ	堀溝川	河岸侵食	1	経過監視	
新潟県	シナノガワ	信濃川	タザワガワ	田沢川	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	シナノガワ	信濃川	タザワガワ	田沢川	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	シナノガワ	信濃川	トリヤスカワ	取安川	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	シナノガワ	信濃川	マホサワガワ	真人沢川	護岸損壊	2	経過監視	
新潟県	シナノガワ	信濃川	チゴウガワ	茶郷川	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	シナノガワ	信濃川	ウメノガワ	梅鉢川	護岸損壊	1	緊急復旧完了	大型土のう、7/7完了
新潟県	シナノガワ	信濃川	カノガワ	見野川	護岸損壊	2	経過監視	
新潟県	シナノガワ	信濃川	キタノマタガワ	北ノ又川	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	シナノガワ	信濃川	マサワガワ	増沢川	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	ウカワ	鶴川	ウカワ	鶴川	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	ナダチガワ	名立川	ナダチガワ	名立川	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	セキガワ	関川	オホクマガワ	大熊川	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	カキザキガワ	柿崎川	カキザキガワ	柿崎川	堤防洗掘	1	経過監視	
新潟県	カキザキガワ	柿崎川	ハイサンジガワ	米山寺川	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	ヒメカワ	姫川	イリコンガワ	入こん川	護岸損壊	1	経過監視	
新潟県	ノウガワ	能生川	ノウガワ	能生川	堤防洗掘	2	応急対策完了	堤防盛土、ブロック投入
島根県	スフガワ	周布川	スフガワ	周布川	護岸損壊	1	応急対策完了	道路災害関連
島根県	ミスミガワ	三隅川	シコニガワ	鹿子谷川	護岸損壊	3	経過監視	
島根県	ミスミガワ	三隅川	イガワガワ	井川川	護岸損壊	1	経過監視	
島根県	オホミガワ	岡見川	オホミガワ	岡見川	護岸損壊	12	経過監視	
島根県	ミスミガワ	三隅川	タハラカワ	田原川	護岸損壊	1	経過監視	
島根県	ミスミガワ	三隅川	ホソダカワ	細田川	護岸損壊	1	経過監視	
島根県	スフガワ	周布川	ナガタカワ	長田川	護岸損壊	10	経過監視	
島根県	シモツカワ	下府川	シモツカワ	下府川	護岸損壊	2	経過監視	
島根県	ハマダカワ	浜田川	ハマダカワ	浜田川	護岸損壊	2	経過監視	
島根県	ゴウノカワ	江の川	シロカウカワ	白角川	護岸損壊	1	経過監視	
島根県	ゴウノカワ	江の川	ツガワガワ	都川川	護岸損壊	2	経過監視	
島根県	ゴウノカワ	江の川	ニメガワ	谷川	護岸損壊	4	経過監視	
島根県	ツチダガワ	土田川	ツチダガワ	土田川	護岸損壊	9	経過監視	
島根県	オキタガワ	沖田川	ウジガワ	宇治川	護岸損壊	3	経過監視	
島根県	ゴウノカワ	江の川	コバヤガワ	小林川	護岸損壊	1	経過監視	
島根県	ゴウノカワ	江の川	ヤスダガワ	安田川	護岸損壊	1	経過監視	
島根県	ゴウノカワ	江の川	フナタガワ	伏谷川	護岸損壊	1	経過監視	
広島県	ゴウノカワ	江の川	シハラガワ	志路原川	護岸損壊	4	緊急復旧完了	7/8 15:00 土のう埋塞完了
広島県	ゴウノカワ	江の川	タジヒガワ	多治比川	護岸損壊	1	経過監視	
広島県	ゴウノカワ	江の川	ヤマダガワ	山田川	護岸損壊	1	経過監視	
福岡県	オシノガワ	遠賀川	オシノガワ	遠賀川	護岸損壊	19	応急対策中	土のう製作・搬付
福岡県	オシノガワ	遠賀川	フナタガワ	深倉川	護岸損壊	2	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	オシノガワ	遠賀川	アカタニガワ	赤谷川	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	オシノガワ	遠賀川	シラキガワ	白木谷川	護岸損壊	4	復旧工事に向けて工法検討中	

福岡県	チクゴ ガワ 筑後川	シラキケカワ 白木谷川	アサクラシ 朝倉市	その他	1	応急対策中	河道閉塞(流木・土砂搬去)
福岡県	チクゴ ガワ 筑後川	イナイバカワ 荷原川	アサクラシ 朝倉市	決壊	3	緊急復旧中	築堤中
福岡県	チクゴ ガワ 筑後川	イナイバカワ 荷原川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	18	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴ ガワ 筑後川	イナイバカワ 荷原川	アサクラシ 朝倉市	その他	1	復旧工事に向けて工法検討中	河道閉塞
福岡県	チクゴ ガワ 筑後川	カワウカワ 桂川	アサクラシ 朝倉市	決壊	1	緊急復旧中	築堤中
福岡県	チクゴ ガワ 筑後川	カワウカワ 桂川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	6	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴ ガワ 筑後川	ノトリカワ 野島川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴ ガワ 筑後川	シラキケカワ 新立川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	10	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴ ガワ 筑後川	キタガワ 北川	アサクラシ 朝倉市	その他	1	応急対策中	河道閉塞(流木・土砂搬去)
福岡県	チクゴ ガワ 筑後川	ミウケンカワ 妙見川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	2	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴ ガワ 筑後川	サダガワ 佐田川	アサクラシ 朝倉市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴ ガワ 筑後川	オホシマヤマカワ 宝珠山川	トウモウラ 東峰村	護岸損壊	9	復旧工事に向けて工法検討中	
福岡県	チクゴ ガワ 筑後川	オホヒガワ 大肥川	トウモウラ 東峰村	護岸損壊	24	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	チクゴガワ 筑後川	オホヒガワ 大肥川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	チクゴガワ 筑後川	ヒメコウチカワ 鶴河内川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	チクゴガワ 筑後川	オノガワ 小野川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	チクゴガワ 筑後川	アリタガワ 有田川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	6	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	チクゴガワ 筑後川	カグツガワ 花月川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	チクゴガワ 筑後川	クマオガワ 熊尾川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	2	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	チクゴガワ 筑後川	イシノモガワ 市ノ瀬川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	チクゴガワ 筑後川	ニクシガワ 二串川	ヒタシ 日田市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	チクゴガワ 筑後川	クスガワ 玖珠川	ココノエマチ 九重町	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	チクゴガワ 筑後川	ウラカワカワ 蒲河内川	クスマチ 玖珠町	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	チクゴガワ 筑後川	オオタガワ 太田川	クスマチ 玖珠町	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	チクゴガワ 筑後川	オノシガワ 金吉川	クスマチ 玖珠町	護岸損壊	5	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	ヤマクニガワ 山国川	ヤマクニガワ 山国川	ナカツシ 中津市	護岸損壊	12	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	ヤマクニガワ 山国川	ハルタガワ 春田川	ナカツシ 中津市	護岸損壊	4	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	ヤマクニガワ 山国川	ナバキガワ 箕木川	ナカツシ 中津市	護岸損壊	6	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	ヤマクニガワ 山国川	タノエカワ 田野尾川	ナカツシ 中津市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	ウスキガワ 臼杵川	カシバガワ 勤場川	ウスキシ 臼杵市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	ウスキガワ 臼杵川	ナカウスキガワ 中臼杵川	ウスキシ 臼杵市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	ウスキガワ 臼杵川	ウスキガワ 臼杵川	ウスキシ 臼杵市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	シタ エガワ 下ノ江川	シタ エガワ 下ノ江川	ウスキシ 臼杵市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	トクウラガワ 徳浦川	トクウラガワ 徳浦川	ウスキシ 津久見市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	バシロウガワ 番匠川	ユカギガワ 床木川	サイキシ 佐伯市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	バシロウガワ 番匠川	イサキガワ 井崎川	サイキシ 佐伯市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	ヒアナガワ 戸穴川	ヒアナガワ 戸穴川	サイキシ 佐伯市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	オオノガワ 大野川	サカイシガワ 酒井寺川	フクヨコエマチ 豊後大野市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	オオノガワ 大野川	イサヤノガワ 市方田川	フクヨコエマチ 豊後大野市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	オオノガワ 大野川	マクサガワ 真竹川	フクヨコエマチ 豊後大野市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	オオノガワ 大野川	タマガガワ 玉田川	フクヨコエマチ 豊後大野市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	オオノガワ 大野川	ヒライガワ 平井川	フクヨコエマチ 豊後大野市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	オオノガワ 大野川	イナバカワ 稲葉川	タケタシ 竹田市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	オオノガワ 大分川	セリカワ 岸川	タケタシ 竹田市	護岸損壊	2	復旧工事に向けて工法検討中	
大分県	オオノガワ 大分川	イラカワ 市川	タケタシ 竹田市	護岸損壊	1	復旧工事に向けて工法検討中	

(5) 道路 (国土交通省情報 : 7月10日 12:00 現在)

ア 高速道路

- ・被災による通行止め : なし
- ・雨量規制等による通行止め : 1路線1区間

路線名	区間名	被災状況	備考
E34 大分道	朝倉IC~杷木IC [L=8.5km]	土砂流入のおそれ	・事前通行規制: 7月9日 21:10~ ※緊急用車両通行可

イ 直轄国道

- ・被災による通行止め : なし

ウ 公社有料

- ・被災による通行止め : なし

エ 補助国道

- ・被災による通行止め : 7区間

路線名	区間名	被災状況	備考
国道471号	ギフケンヒガシカワイマテフタツヤ 岐阜県飛騨市河合町二ツ屋	土砂流出	・通行止め開始: 7月5日 17:00~ ・人身物損無し、孤立無し、迂回路あり
国道186号	シマネケン ハマダシ カナギチヨウ ヲサダ 島根県浜田市金城町長田	土砂流出	・通行止め開始: 7月5日 4:10~ 区間短縮15:10~ ・人身物損無し、孤立無し、迂回路あり
国道211号	フクオカケン アサクラグントウホウムラコイシワラ ツツミ 福岡県朝倉郡東峰村小石原鼓	法面崩落	・通行止め開始: 7月5日 18:00~ ・人身物損不明、孤立不明、迂回路不明
	フクオカケンアサクラグントウホウムラフクイ 福岡県朝倉郡東峰村福井	橋台背面の洗掘 法面崩落	・通行止め開始: 7月6日 17:00~ ・人身物損なし、孤立なし、迂回路あり ・通行止め開始: 7月6日 15:30~ ・人身物損なし、孤立なし、迂回路あり
国道500号	フクオカケンタガワグンソエダマチ オチアイ 福岡県田川郡添田町落合	法面崩落	・通行止め開始: 7月5日 18:30~ ・人身物損無し、孤立無し、迂回路あり
国道212号	オオイタケン ナカツシ ヤバケイマチ カキサカ ナ 大分県中津市耶馬溪町柿坂~中 カツシ ホンヤバケイマチ ソギ 津市本耶馬溪町曾木	路肩崩壊	・通行止め開始: 7月5日 19:00~ ・人身物損無し、孤立無し、迂回路あり
国道496号	オオイタケン ナカツシ ヤマクニマチクサモト 大分県中津市山国町草本	法面崩落	・通行止め開始: 7月5日 18:00~ ・人身物損なし、孤立なし、迂回路あり
国道386号	フクオカケンアサクラシハキホサカ~フクオカケンアサクラシミ 福岡県朝倉市杷木穂坂~福岡県 ヤノ 朝倉市宮野	冠水	・通行止め開始: 7月5日 14:30~ ・人身物損なし、孤立なし、迂回路あり

オ 都道府県道、政令市道

被災による通行止め：計57区間

※福岡県や大分県など一部不明あり

- ・新潟県 3区間 (路肩崩壊2、法面崩落1)
- ・富山県 3区間 (法面崩2、土砂流出1)
- ・石川県 2区間 (路肩崩壊1、法面崩落1)
- ・愛知県 1区間 (路肩崩壊1)
- ・鳥取県 1区間 (土砂流出1)
- ・島根県 3区間 (土砂崩れ1、倒木1、路肩崩壊1)
- ・広島県 7区間 (路肩崩壊3、法面崩落4)
- ・福岡県 12区間 (土砂流出1、土砂崩れ7、路肩崩壊2、法面崩落1、土砂堆積1)
- ・大分県 21区間 (土砂崩れ12、路面冠水1、路肩崩壊8)
- ・鹿児島県 1区間 (法面崩落1)
- ・静岡市 1区間 (法面崩落1)
- ・広島市 1区間 (落石1)
- ・岡山市 1区間 (法面崩落1)

(6) 交通機関

ア 鉄道 (国土交通省情報：7月10日12:00現在)

(施設被害)

○新幹線の状況

- ・被害なし

○在来線の状況

- ・黒部峡谷鉄道 本線 笹平駅～出平駅間で線路内土砂流入(撤去済み)、猫又駅構内において冠水
- ・九州旅客鉄道 久大線 光岡駅～日田駅間で橋りょう流出等、筑後大石駅～夜明駅間で土砂流入等
- ・九州旅客鉄道 日田彦山線 大行司駅構内で駅舎倒壊等

(運行状況)

- ・新幹線の状況 運転休止線区なし
- ・在来線の状況 2事業者3路線 運転休止

事業者名	線名	運転休止区間	運転休止		運転再開		主な被害状況等
黒部峡谷鉄道	本線	宇奈月～笹平	7/1	始発	7/10	始発	
黒部峡谷鉄道	本線	笹平～櫛平	7/1	始発			笹平～出平間で土砂流入(撤去済み)、猫又駅構内で冠水
九州旅客鉄道	日田彦山線	添田～夜明	7/5	12:55			大行司駅構内で駅舎倒壊等
九州旅客鉄道	久大線	うきは～日田	7/5	15:55			光岡～日田間で橋りょう流出、筑後大石～夜明間で土砂流入等

※久大線については、7/10より、バスによる代行輸送(筑後吉井駅～日田駅及びうきは駅～日田駅)を実施

イ 自動車関係 (国土交通省情報：7月10日4:00現在)

(1) 路線バス関係

・ 4 事業者 4 路線運休、2 事業者 2 路線一部運休

事業者名	路線(方面)名	被害状況	備考(運行休止区間等)
石見交通(株)	櫛田線	一部運休	
西鉄バス久留米(株)	杷木～宝珠山・小石原(杷木～浮羽線)	運休	
西鉄バス二日市(株)	甘木営業所～杷木(甘木幹線)	運休	
日田バス(株)	日田～皿山(小鹿田線)	運休	
日田バス(株)	日田～岩下(有田線)	一部運休	
九州産交バス(株)	星和線	運休	

(2)トラック関係

- ・ 各県トラック協会の協力のもと、各県からの要請による緊急物資輸送を実施
福岡県で 4 件、大分県で 2 件

輸送日、件数	輸送品目	輸送先
7/6 福岡県で2件実施	歯ブラシ、トイレトーパー等	朝倉体育センター(朝倉市)、甘木体育センター(朝倉市)
7/7 大分県で2件実施	日用雑貨、ブルーシート	日田市役所
7/8 福岡県で2件実施	簡易トイレセット、段ボールベットセット	朝倉光陽高校(避難所)、東峰村小石原庁舎(避難所)

ウ 海事関係 (国土交通省情報 : 7 月 10 日 12:00 現在)

- ・ 2 事業者 2 航路で運休または一部運休

事業者名	航路名	運航状況	備考
シークルーズ	本渡～松島～三角	運休	14日まで運休
山畑運輸(有)	棚底～三角	一部運休	

エ 港湾 (国土交通省情報 : 7 月 10 日 12:00 現在)

(ア) 港湾施設

都道府県名	管理者名	港格	港湾名	地区名	被害状況
新潟県	新潟県	地方	柏崎港		臨港道路(L=25m)が土砂崩れにより通行止め(7/14までに応急復旧予定)
熊本県	熊本県	重要	三角港	際崎	東港浮桟橋(2号待合所) ・連絡橋破損 ・渡橋水没等 [定期船2社が7/4から運休又は一部運休中] ・(株)シークルーズ:三角～松島～本渡間(運休) ・山畑運輸(有):棚底～三角(一部運休)
熊本県	熊本県	地方	田浦港	小田浦	浮桟橋のローラー破損 (定期航路への影響なし)
熊本県	熊本県	地方	鏡港	鏡	渡橋水没 (定期航路への影響なし)

オ 空港 (国土交通省情報 : 7 月 10 日 12:00 現在)

(ア) 空港施設等

- ・ 被害情報なし

(イ) 欠航便なし

(7) 文教施設関係（文部科学省情報：7月10日9:00現在）

ア 物的被害

都道府県名	国立学校施設 (校)	公立学校施設 (校)	私立学校施設 (校)	社会教育・体育、 文化施設等(施設)	文化財等 (件)	独立行政法人等 (施設)	計
福岡県	1	14		7	4		26
佐賀県	1						1
長崎県	1						1
熊本県	3	52		5	4		64
大分県	2	20	3	1	12		38
鹿児島県	1						1
計	9	86	3	13	20		131
6県	大学 8 高専 1	幼 2 小 32 中 17 高 27 中等 1 特別 4 その他 3	高 1 こども園 2	社教 7 社体 6	章文(建) 8 登録(建) 5 特史 1 史跡 5 伝建 1		

- ・主な被害状況：グラウンド等への土砂流入、校舎の傾斜、校舎等の屋根・窓ガラス等の破損、床上浸水、雨漏り、倒木等

イ 休校・短縮授業となっている学校等 ※7月7日の状況

都道府県名	国立学校施設(校)		公立学校施設(校)		私立学校施設(校)		社会教育・体育、 文化施設等(校)		文化財等(件)		独立行政法人等(施設)		計	
	休校	短縮	休校	短縮	休校	短縮	休館	短縮	休館	短縮	休館	短縮	休校等	短縮
福岡県			302	53									302	53
佐賀県			2	3									2	3
熊本県			1	1	5	9							6	10
大分県			35	4	2	1							37	5
計			340	61	7	10							347	71

(8) 医療施設関係（厚生労働省情報：7月10日13:00現在）

①病院・有床診療所

- ・福岡県・・・避難指示又は避難勧告が出た9市町村に所在する全ての医療施設（病院64、診療所86）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。（朝倉市の1透析診療所が断水しており、近隣施設で対応中。）
7月7日6時30分以降、新たに避難指示又は避難勧告が出た2市1町に所在する全ての医療施設（病院103、診療所115）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。
- ・大分県・・・避難指示又は避難勧告が出た4市に所在する全ての医療施設（病院41、診療所56）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。
- ・熊本県・・・避難指示又は避難勧告が出た12市町村に所在する全ての医療施設（病院34、診療所42）と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。
- ・山口県・・・避難指示又は避難勧告が出た2市に所在する全ての医療施設（病院44、

診療所 50) と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。

- ・佐賀県・避難勧告の出た 1 町に所在する全ての医療施設 (病院 3、診療所 2) と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。

②無床診療所

各県と連携して引き続き情報収集に努める。

- ・福岡県・断水 2 箇所 (朝倉市)。診療不可。

床上浸水 1 箇所 (朝倉市)。医療機器損傷で診療不可。

床下浸水 1 箇所 (朝倉市)。泥の堆積のため診療不可。

- ・大分県・避難指示又は避難勧告が出た 4 市に所在する全ての診療所 (104 施設) と連絡をとり、被害状況を確認。現時点では被害報告は無し。

○DMAT の状況

①福岡県

7 月 8 日まで DMAT 計 10 隊が医療活動を実施していたが、病院搬送などが必要な急性期の医療ニーズが減少したことに伴い 7 月 9 日より体制を見直し。7 月 9 日以降、病院搬送が必要な患者が発生した場合には、通常の医療体制の中で対応。

- ・7 月 9 日までは福岡県内の DMAT 1 隊が福岡県災害対策本部 (DMAT 調整本部) で活動していたが、7 月 10 日からは DMAT 調整本部の活動を中断し、当面通常の体制で対応する予定。
- ・福岡県内の DMAT 3 隊を朝倉市災害対策本部に派遣していたが、7 月 8 日をもって終了。
- ・福岡県内の DMAT 1 隊を朝倉市甘木公園に派遣していたが 7 月 8 日をもって終了。避難させる住民のうち治療の必要がある住民を朝倉医師会病院へ搬送させる活動に従事。7 月 8 日 20 時までに 14 名を搬送。
- ・福岡県内の DMAT 3 隊を朝倉医師会病院支援のために派遣していたが 7 月 8 日をもって終了。

②大分県

- ・7 月 8 日に日田市小野地区の住民の医療ニーズの把握のため DMAT 1 隊を派遣。病院搬送などが必要な医療ニーズがないことを確認し、終了。

(9) 心のケア・精神科病院関係・障害児者支援関係 (厚生労働省情報 : 7 月 10 日 13:00 現在)

- ・福岡県、大分県ともに被害情報なし

○DPAT の状況

①福岡県

7 月 10 日から福岡 DPAT 1 隊が朝倉市で活動開始。

②大分県

7 月 9 日から大分県 DPAT 1 隊が大分県西部保健所 (日田市・九重町・玖珠町を所管) で活動中。

(10) 社会福祉施設関係 (厚生労働省情報 : 7 月 10 日 13:00 現在)

○高齢者関係施設

福岡県東峰村の特別養護老人ホーム 2 施設 (宝珠郷・清和園) については、一時孤立していたが、6 日朝に自衛隊が到着し、支援活動を実施。物的・人的被害はなし。

清和園については、電力・水道は復旧。宝珠の郷については、電力は復旧、断水は継続しているが、自衛隊の給水で問題なし。

福岡県朝倉市において、山崩れのおそれのため、9日の午後、避難指示が発令され、有料老人ホームわかいちに入居する12名が福岡県小郡市（5名）及び佐賀県基山市（7名）のグループホームにそれぞれ避難している。

福岡県北九州市の介護老人保健施設1施設において床下浸水によりエレベータが故障したが、本日、復旧の見込み。人的被害はなし。

大分県日田市の有料老人ホーム1施設において、一時床上浸水したが既に復旧済み。人的被害はなし。日田市の2施設（デイサービスセンター鳩友園、小野地区老人憩いの家）については、一時孤立していたが、自衛隊等ヘリにより避難所等へ全員搬送済み。

○障害児・者関係施設

大分県日田市で2施設において床下浸水の被害があったが、復旧済み。人的被害はなし。

○児童関係施設等

大分県日田市の保育所等4施設、中津市の保育所1施設で床上や床下浸水などの被害があったが、このうち、日田市の3施設については、復旧済み。福岡県朝倉市の保育所1施設で給食室に土砂流入の被害あり。

(11) 職業能力開発施設関係（厚生労働省情報：7月10日13:00現在）

・福岡県、大分県内の公共職業能力開発施設及び認定職業訓練施設について、被害報告無し。訓練も通常どおり実施。

(12) 保健・衛生関係（厚生労働省情報：7月10日13:00現在）

(1) 人工透析

福岡県朝倉市の1透析医療施設で断水しており、給水量の関係で、同施設の入院患者には自施設で透析を実施。外来患者は、近隣医療施設で透析を受療。引き続き情報収集に努める。（各県の透析医療施設数は、福岡県に215、大分県に73）

(2) 被災者の健康管理

① 保健師等の活動

<福岡県>

○朝倉市（常勤保健師数15人）

・7日（金）から県医師1名、県保健師9名、10日（月）から福岡市保健師が支援に入り、県医師1名、県保健師7名、福岡市保健師2名が、避難所を巡回し健康相談を実施。

・7日（金）から、避難所運営管理のため、福岡市職員10名が支援を実施。

○東峰村（常勤保健師数2人）

・7日（金）から県保健師2名が支援に入り、宝珠山地区の避難所を巡回し健康相談を実施。

○福岡県北筑後保健福祉環境事務所

・朝倉市、東峰村を所管する福岡県北筑後保健福祉環境事務所支援のために、7日（金）より県内医師を毎日1名派遣。

○久留米市、うきは市、嘉麻市、添田町、小郡市、大牟田市、八女市、みやま市、

柳川市、筑後市、大木町、川崎町、上毛町、筑前町、大刀洗町は市町村の保健師で対応可能。

○北九州市（保健師数 163 人）

・避難所開設。現時点では市保健師で対応可能。

<大分県>

○中津市（常勤保健師数 25 人）

・6日（木）に県保健師2名が支援に入り、9日（日）は1名が避難所を巡回し健康相談を実施。

○日田市（常勤保健師数 23 人）

・6日（木）から県保健師1名が支援に入り、10日（月）は3名が避難所を巡回し健康相談を実施。

○大分県西部保健所

・日田市を所管する大分県西部保健所支援のために、8日（土）から、医師、保健師、獣医師を派遣。

②「避難所生活を過ごされる方々の健康管理に関するガイドライン」を福岡県庁と大分県庁にメールで送付。

(3) その他

①保健衛生施設の被害状況

<熊本県>

市町村保健センターにおいて、雨漏り被害の報告が4件あり。復旧済み。

<福岡県・大分県>

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

②感染症指定医療機関、病原体管理施設の被害状況

現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。

(13) 医薬品・医療機器関係（厚生労働省情報：7月10日 13:00 現在）

① 薬品卸売販売業・医療機器販売業関係

業界団体に確認したところ、現時点では医薬品・医療機器等の安定供給等に係る被害はない。

② 輸血用血液製剤

日本赤十字社に確認したところ、現時点では輸血用血液製剤の安定供給等に係る被害はない。

③ 薬局・薬剤師

【福岡県】

・床下浸水等の報告が9件（朝倉市8件、大牟田市1件）あり。うち1件（朝倉市）は営業できていない。

・チラシの配布等により、いつも服用している薬が手元になく、薬のことで困っている場合は、巡回している医師、薬剤師、保健師等に相談するよう周知を実施中。

・福岡県薬剤師会の薬剤師（6名）が避難所（10カ所）を巡回して薬に関する相談対応を実施中。

【大分県】

- ・現時点で被害報告無し。引き続き情報収集に努める。
- ・大分県薬剤師会の薬剤師が日田市内の避難所を巡回して薬に関する相談対応を実施していたが、近隣の医療機関や薬局で対応可能なことから、9日をもって終了。

(14) 農林水産関係（農林水産省情報：7月10日11:00現在）

区分	主な被害	被害数	被害額 (億円)	被害地域 (現在24県より報告あり)
農作物等	農作物等	2,033ha	0.2	新潟、富山、石川、島根、広島、高知、長崎、沖縄
	農業用ハウス等	104件	0.3	岐阜、三重、和歌山、広島、高知、長崎
小計			0.5	
農地・施設関係	農地	504箇所	6.1	山形、長野、新潟、富山、石川、岐阜、兵庫、鳥取、島根、岡山、長崎
	農業用施設等	186箇所	3.7	山形、長野、新潟、富山、石川、岐阜、兵庫、島根、岡山、長崎
小計			9.8	
林野関係	林地荒廃	87箇所	18.0	新潟、長野、岐阜、島根、佐賀、長崎、大分、沖縄
	治山施設	5箇所	0.6	新潟、長野、大分
	林道施設等	223箇所	6.3	山形、福島、新潟、石川、山梨、長野、島根、広島、愛媛、高知、福岡、佐賀、大分、宮崎
	木材加工・流通施設	1箇所	0.0	熊本
小計			25.0	
水産関係	漁船	13隻	0.0	和歌山、島根、愛媛、長崎
	養殖施設	8件	0.2	愛媛
	漁港施設等	1漁港	0.1	長崎
小計			0.3	
合計			35.5	

注：現時点で県等から報告があったものを記載しており、引き続き調査中。

(15) 郵便関係（総務省情報：7月10日13:00現在）

○窓口業務（7/10 8:00現在）

- ・局舎床上浸水等の被害があり、以下の局において、臨時休業【直営局9局、簡易局2局 合計11局】

福岡県朝倉市内全域 3局（直営局）、2局（簡易局）

朝倉郡 2局

大分県日田市 4局

○郵便業務（7/10現在。）

- ・配達業務を完全に休止している郵便局はないが、避難指示が出ている地域（福岡県朝倉市の一部と大分県日田市の一部）については配達を見合わせている。
避難指示が解除された地域においても、一部の地域（福岡県朝倉市の一部と大分県日田市の一部）では配達不能。

(16) 小売業（経済産業省情報：7月9日17:00現在）

- ・福岡県朝倉市内の2店舗のコンビニエンスストアの一時営業停止を確認。
その他地域においては、通常通り営業。
※営業中のコンビニエンスストア・スーパーマーケット等において、在庫逼迫や長蛇の列が起こる等の混乱は現状起こっていない。
※地方公共団体からの要請に基づき、コンビニエンスストア及び総合小売グループが、水のペットボトル約7,500本を避難所等に供給済み。（7/6）

(17) 金融機関関係（金融庁情報：7月10日9:00現在）

- ・避難指示等のため、郵便局11局以上が臨時休業。
- ・浸水のため、2箇所のATMが利用不可。

(18) 災害廃棄物等関係関係（環境省情報：7月10日14:00現在）

- ・被害情報なし

5 政府の主な対応

(1) 関係省庁災害警戒会議等の実施

- ・7月3日12:30 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害警戒会議」
- ・7月5日11:30 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議」
- ・7月6日7:30 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議（第2回）」
- ・7月6日16:30 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議（第3回）」
- ・7月7日16:00 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議（第4回）」
- ・7月9日11:30 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議（第5回）」
- ・7月10日16:00 「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議（第6回）」予定

(2) 政府調査団の派遣

- ・7月7日 松本内閣府副大臣を団長とする政府調査団を福岡県へ派遣

- ・7月9日 松本内閣府特命担当大臣（防災）を団長とする政府調査団を大分県へ派遣

(3) 政府現地連絡調整室の設置

- ・政府現地連絡調整室（福岡県）を設置（7月7日）

(4) 災害救助法の適用

- ・平成29年7月5日からの大雨により、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じていることから、福岡県は県内3市町村に、大分県は県内2市に災害救助法の適用を決定

【福岡県】（適用日：7月5日）

あさくらし あさくらぐんとうほうむら たがわぐんそえだまち
朝倉市、朝倉郡東峰村、田川郡添田町

【大分県】（適用日：7月5日）

なかつし ひたし
中津市、日田市

(5) 災害ボランティア等の活動状況

- ア 社会福祉協議会が運営する災害ボランティアセンターに関する状況（厚生労働省情報：7月10日4:00現在）

①福岡県

福岡県社会福祉協議会が災害救援本部を設置（7月5日）。

朝倉市社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置（7月7日）。

・ボランティア募集開始：7月9日（日）

・活動状況：7月9日（日）雨天中止

②大分県

大分県社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置（7月6日）。

日田市社会福祉協議会が災害ボランティアセンターを設置（7月8日）。

・ボランティア募集開始：7月8日（土）

・活動状況：7月8日（土）186名、7月9日（日）雨天中止

③厚生労働省及び全国社会福祉協議会

7月6日、福岡県及び大分県に職員を派遣し、県社会福祉協議会と被害状況等を確認するとともに、災害ボランティアセンターの設置及び運営を支援。

- イ NPO/NGO 等のボランティア団体の活動（JVOAD 提供情報）

※JVOAD：全国災害ボランティア支援団体ネットワーク

【主な動き】

○行政とNPO等との連携・協働

- ・7月9日：福岡県庁にて支援団体の情報共有会議（主催：JVOAD）が開催され、県内外からの支援団体、内閣府及び福岡県の担当者等計約50名が参加し、ボランティア活動に関する情報共有を実施。

6 各省庁等の対応

(1) 内閣府の対応

- ・内閣府情報連絡室設置（7月3日12:30）

- ・松本内閣府特命担当大臣（防災）から国民への呼びかけ（6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号への対応について）（7月3日）
- ・内閣府防災ツイッター等により、国民への注意喚起を実施（7月3日14:06）
- ・内閣府情報対策室設置（7月5日5:55）
- ・内閣府情報先遣チームを派遣（福岡県 7/6～、大分県庁 7/6～）
- ・7月6日付けで、福岡県及び大分県に対し「避難所の生活環境の整備等について（留意事項）」の通知を发出
- ・7月6日付けで、福岡県及び大分県に対し「平成29年7月5日からの大雨による災害における被災者支援の適切な実施について」の通知を发出

(2) 警察庁の対応

- 警察庁では、災害対策室長を長とする災害情報連絡室を設置（7/3 16:46）
- 警察庁、管区警察局では、情報収集体制を強化し被害関連情報の収集を実施中
- 都道府県警察では、警備連絡室等を設置して情報収集体制を強化するなど警戒態勢を確立中
- 島根県内における特別警報発表に伴い中国管区内の広域緊急援助隊に待機指示（7/5 6:40）待機解除（7/5 10:40）
- 中国管区情報通信部機動警察通信隊出動し、モバイル映像による情報収集を実施（島根：7/5 6:55、広島 7/5 7:10）
- 島根県内の警察部隊の活動状況
 - ・島根県警察機動隊隊長以下24人が浜田警察署で前進待機
 - ・島根県警察管区機動隊20人が大田警察署で前進待機
 - ・島根県警察航空機「ちどり」がヘリテレ映像の撮影による被害情報の収集を実施し、官邸にヘリテレ映像を配信（7/5 12:30）
- 警察活動による救出事案等

【新潟県】

- ・柏崎市において、裏山が崩れて民宿2軒の1階に土砂が流入。民宿内に居た者すべての無事を警察官が確認（7/4）

【広島県】

- ・広島市安佐北区の鈴張川において、「男性が流されている」との通報に基づき警察署員が消防と捜索を実施。通報場所付近の中州で心肺停止状態の男性を発見し、消防により救助。その他死亡を確認したが、災害に起因するものか否かは自治体で検討中（7/5）

【島根県】

- ・益田市において、「崩れた土砂の上を歩行中に埋もれて身動きができなくなっている人がいる」との目撃者からの通報に基づき、臨場した警察官2人が65歳男性を救助。男性は顔面擦過。災害に起因するものか否かは自治体で検討中（7/5）

【熊本県】

- ・上天草市大矢野町において、60歳男性が運転中の4トントラックが風に煽られ、橋の欄干にもたれ掛った状態になったものを警察官が救出。怪我なし（7/4）

(3) 消防庁の対応

- ・ 7月3日 12時30分 関係省庁災害警戒会議に応急対策室長が出席
- 15時08分 全都道府県に対し「梅雨前線及び台風による大雨警戒情報」を発出
- ・ 7月4日 6時30分 応急対策室にて情報収集体制を強化
- ・ 7月5日 5時55分 応急対策室長を長とする災害対策室設置（第1次応急体制）
- 11時30分 関係省庁災害対策会議に応急対策室長が出席
- 17時51分 国民保護・防災部長を長とする消防庁災害対策本部を設置（第2次応急体制）
- ・ 7月6日 5時25分 現地活動支援及び現地広報のため、消防庁職員を福岡県へ6名、大分県へ6名を派遣
- 7時30分 関係省庁災害対策会議に消防庁次長が出席
- 8時00分 消防庁長官を長とする消防庁災害対策本部を設置（第3次応急体制）
- 9時00分 関係閣僚会議に総務大臣が出席
- 16時30分 関係省庁災害対策会議に消防・救急課長が出席
- 17時00分 政府調査団として、地域防災室長を福岡県に派遣
- ・ 7月7日 10時00分 関係閣僚会議に総務大臣が出席
- 16時00分 関係省庁災害対策会議に総務課長が出席
- ・ 7月9日 9時30分 政府調査団として、震災対策専門官を大分県に派遣
- 11時30分 関係省庁災害対策会議に消防・救急課長が出席

ア 消防機関等の活動体制

《7月10日の活動》

【福岡県】

地元消防本部	約700名
地元消防団	約1000名
県内消防応援等及び緊急消防援助隊	675名（ヘリ7機） <u>8時10分現在</u>

【大分県】

地元消防本部	約500名
地元消防団	約300名
県内消防応援等及び緊急消防援助隊	260名（ヘリ6機） <u>8時10分現在</u>

(4) 海上保安庁の対応

- ・ 情報収集及び地方自治体等との連絡を密にしつつ、引き続き巡視船艇・航空機の即応態勢を維持

(ア) 対応体制

- 7月5日 17:55 第七管区海上保安本部対策室を設置
- 7月5日 19:41 海上保安庁対策本部を設置
- 7月5日 19:41 第七管区海上保安本部対策室を第七管区海上保安本部対策

本部に改組

(イ)対応勢力(7月10日5:00現在)

①現状

- 巡視船艇
(待機中)・巡視艇2隻
- 航空機
(待機中)・固定翼航空機1機
・回転翼航空機2機
- 機動救難士4名(待機中)

②のべ数

- 巡視船艇38隻(巡視船8隻、巡視艇30隻)
- 航空機 固定翼航空機11機、回転翼航空機33機
- 機動救難士38名
- 特殊救難隊16名

(ウ)対応状況

6日

- 巡視艇による沿岸部被害状況調査
- 大型巡視船3隻配備
- 航空機による被害状況調査及び孤立者救助

7日

- 巡視艇による沿岸部被害状況調査
- 大型巡視船2隻配備
- 航空機による被害状況調査及び孤立者支援

8日

- 巡視艇による沿岸部被害状況調査
- 大型巡視船1隻配備
- 航空機による沿岸部被害状況調査及び孤立者支援
- 有明海にて巡視艇により漂流遺体1体揚収(本件大雨との関連性は不明)※件数は警察庁が計上

9日

- 巡視艇2隻、回転翼航空機2機及び固定翼航空機1機により有明海及び別府湾周辺海域等の被害状況調査

10日

- 巡視艇1隻・航空機1機により有明海周辺海域等の被害状況調査
- 福岡航空基地に固定翼航空機1機待機、回転翼航空機2機待機

(エ)リエゾン(情報連絡員)派遣

①政府調査団派遣

政府調査団(福岡県)に本庁警備救難部環境防災課防災対策官派遣(7日対応終了)

②リエゾン派遣

- 福岡県庁へリエゾン派遣(のべ18名)
- 大分県庁へリエゾン派遣(のべ13名)
- 熊本県庁へリエゾン派遣(のべ4名)

(才) 警戒配備状況

- 第十一管区海上保安本部（那覇市）
 - 7月2日18:00 警戒配備発令（一部部署）
 - 7月3日08:00 警戒配備解除
- 第七管区海上保安本部（北九州市）
 - 7月4日03:00 警戒配備発令（一部部署）
 - 7月4日14:30 警戒配備解除
- 第十管区海上保安本部（鹿児島市）
 - 7月4日04:00 警戒配備発令（一部部署）
 - 7月4日14:00 警戒配備解除
 - 7月4日08:00 非常配備発令（一部部署）
 - 7月4日12:00 非常配備解除
- 第六管区海上保安本部（広島市）
 - 7月4日08:00 警戒配備発令（一部部署）
 - 7月4日18:00 警戒配備解除
- 第五管区海上保安本部（神戸市）
 - 7月4日09:00 警戒配備発令（一部部署）
 - 7月4日19:00 警戒配備解除
- 第八管区海上保安本部（舞鶴市）
 - 7月4日10:00 警戒配備発令（一部部署）
 - 7月4日13:00 警戒配備解除
 - 7月5日06:00 警戒配備発令（一部部署）
 - 7月5日13:00 警戒配備解除
- 第四管区海上保安本部（名古屋市）
 - 7月4日13:00 警戒配備発令（全部署）
 - 7月4日21:00 警戒配備解除
- 第三管区海上保安本部（横浜市）
 - 7月4日16:00 警戒配備発令（一部部署）
 - 7月5日03:00 警戒配備解除

(5) 金融庁の対応

- ・7月3日、金融庁災害情報連絡室を設置。
- ・7月6日、福岡県及び大分県内の金融機関等に対し、福岡財務支局長及び日本銀行福岡支店長並びに九州財務局大分財務事務所長及び日本銀行大分支店長の連名により、「平成29年7月5日からの大雨による災害に対する金融上の措置について」を発出し、預金の払戻時の柔軟な取扱い等、被災者の便宜を考慮した適時的確な措置を講じるよう要請。

(6) 総務省の対応

- ・7月2日(日)17時10分、大臣官房総務課に情報連絡室を設置。
- ・7月5日(水)06時01分、大臣官房総務課に災害警戒室を設置。
- ・7月5日(水)19時46分、総務省災害対策本部（長：官房長）を設置。
- ・7月6日(木)、総務大臣出席により、総務省災害関係局長級会議開催。

- ・ 7月6日(木)、福岡県災害対策本部へリエゾンを派遣予定(九州総合通信局 部長級1名・課長級1名)。
- ・ 7月7日(金)、近畿総通局が東峰村役場(宝珠山庁舎)に入り、ICTユニット等の「総務省災害対策用移動通信機器」の設置、貸出。
- ・ 7月7日(金)、総務大臣出席により、総務省災害関係局長級会議(第2回)開催。
- ・ 7月7日(金)、福岡県への政府調査団に自治財政局財政課参事官が参加。
- ・ 7月8日(土)、四国総通局が「総務省災害対策用移動通信機器」(ICTユニット)の設置、貸出に向けて、福岡県入り。
- ・ 7月9日(日)、大分県・福岡県への政府調査団に自治財政局財政課参事官が参加。

○職員派遣の状況(7月10日13:00現在)

		要請数	派遣数	備考
福岡県	朝倉市	34名→40名	31名	避難所運営要員等
	東峰村	14名	12名→14名	避難所運営要員等
大分県	日田市	16名	8名	避難所運営要員等

※要請は、朝倉市及び東峰村は福岡県、福岡県内市町村に、日田市は大分県に要請
派遣は、朝倉市は県職員及び福岡県内市町村職員、東峰村はすべて県職員で対応
日田市はすべて大分県職員で対応

(7) 防衛省の対応

○災害派遣の概要

【福岡県】

- (1) 要請日時 平成29年7月5日(水)19時00分
- (2) 要請元 福岡県知事
- (3) 要請先 陸上自衛隊第4師団長(福岡)
- (4) 要請の概要 人命救助及び物資輸送
- (5) 発生場所 福岡県朝倉市(あさくらし)及び東峰村(とうほうむら)

【大分県】

- (1) 要請日時 平成29年7月5日(水)19時30分
- (2) 要請元 大分県知事
- (3) 要請先 陸上自衛隊第4戦車大隊長(玖珠)
- (4) 要請の概要 人命救助
- (5) 発生場所 大分県日田市

○災害派遣までの経緯

平成29年7月5日(水)、大雨により道路が冠水し、福岡県東峰村で孤立者が発生し、警察及び消防等による対応が困難であることから、福岡県知事から陸上自衛隊第4師団長に対し、人命救助及び物資輸送に係る災害派遣要請があった。

また、大分県日田市においても大雨により道路が冠水し、孤立者が発生したことから陸上自衛隊第4戦車大隊長に対し、人命救助に係る災害派遣要請があった。

○防衛省・自衛隊の対応

- (1) 活動部隊 陸自 第41普通科連隊(別府)、第40普通科連隊(小倉)、第4後方支援連隊(福岡)、第2高射特科団(飯塚)、西部方面特科隊(湯布院)、第4特科連隊(久留米)、

第5施設団(小郡)、第4戦車大隊(玖珠)、第4施設大隊(大村)、第4飛行隊(目達原)、第4通信大隊(福岡)、第4師団司令部(福岡)、第4偵察隊(福岡)、第8通信大隊(北熊本)、西部方面通信群(健軍)、西部方面航空隊(目達原)、第3後方支援連隊(千僧)、第14後方支援隊(善通寺)、第1後方支援連隊(練馬)、自衛隊福岡地方協力本部、自衛隊大分地方協力本部

海自 第22航空隊(大村)、第72航空隊(大村)
空自 芦屋救難隊(芦屋)、新田原救難隊(新田原)、春日ヘリコプター空輸隊(春日)、西部航空警戒管制団(春日)、第2高射群(春日)

地防 九州防衛局

(2) 活動規模 人員 約4,060名

航空機 23機(最大50機)

(3) 活動実績 人命救助(東峰村、朝倉市、日田市):0名(延べ658名)

行方不明者捜索等(朝倉市、東峰村):2名

道路啓開(朝倉市、東峰村、日田市):0m(延べ1,25km)

物資輸送(東峰村、日田市):食料・水・日用品等を輸送

給食支援(朝倉市、東峰村):0食(延べ1,209食)

入浴支援(朝倉市、日田市):82名(延べ177名)(延べ295名)

給水支援(朝倉市、東峰村、日田市):37.1t(97.9t)

人員等輸送(朝倉市、日田市):83名

(8) 財務省の対応

○福岡県、大分県に未利用国有地等の利用可能リストを提供

○災害救助法の適用決定を踏まえ、被災中小企業への対応として、親身な窓口対応、資金の円滑な融資等を、日本政策金融公庫等に要請(7/6 厚労省、中小企業庁と連名)

○本災害について、日本政策投資銀行、商工組合中央金庫の危機対応融資の対象に追加(7/6 農水省、中小企業庁と連名)

○被災農業者等への対応として、親身な窓口対応、資金の円滑な融通等を、日本政策金融公庫等に要請(7/6 農林水産省と連名)

(9) 文部科学省の対応

- ・文部科学省災害情報連絡室(室長:施設企画課長)を設置(6月30日16時20分)
- ・各都道府県教育委員会等に対し、防災態勢の強化を図るとともに、児童生徒等の安全確保及び施設の安全確保等に万全を期すよう要請(6月30日、7月2日、3日、4日、5日、6日、7日)
- ・6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害警戒会議に防災推進室担当官が出席(7月3日)
- ・6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成29年台風第3号に係る関係省庁災害対策会議に防災推進室担当官が出席。(7月5日、6日、7日、9日)
- ・各都道府県教育委員会に対し、学校における避難所運営の協力に関する留意事項につ

- ・ いて再周知し、必要な対応を要請。(7月6日)
- ・ 被災した公立学校施設の早期復旧を図るため事前着工の着手等について、関係教育委員会宛に事務連絡を发出。(7月6日)
- ・ 政府調査団に文部科学省職員を派遣。(福岡県1名:7月6日、大分県1名:7月9日)
- ・ 政府現地連絡調整室に文部科学省職員1名を派遣。(福岡県:7月8日~)

(10) 厚生労働省の対応

- ・ 厚生労働省災害対策本部設置(7月6日7:00)
- ・ 厚生労働省災害対策本部第1回会合開催(7月6日10:20)
- ・ 内閣府松本副大臣を長とする政府調査団に馬場大臣政務官、九州厚生局長ほか1名を派遣。(7月7日)

○職員の現地等への派遣状況

- ・ 7/6、医療・福祉・水道の状況を確認するため、厚生労働省職員、現地の厚生局・労働局職員を福岡県に8名、大分県に3名派遣。
- ・ 福岡県東峰村の特別養護老人ホーム宝珠の郷へ日田労働基準監督署から職員を2名派遣。
- ・ 7/7、医療・福祉・水道の状況を確認するため、厚生労働省職員を福岡県・大分県に引き続き派遣。
- ・ 特別養護老人ホーム清和園へ本省職員を派遣し、問題が無いことを確認。
- ・ 7/8、医療・福祉・水道の状況を確認するため、厚生労働省職員、現地の厚生局・労働局職員を福岡県・大分県に引き続き派遣。
- ・ 避難所の状況等を確認するため、厚生労働省職員(保健師等)2名を福岡県に派遣。
- ・ 7/9、内閣府松本特命担当大臣を長とする政府調査団に九州厚生局長ほか2名を派遣。
- ・ 福岡県庁に設置された政府現地連絡調整室に九州厚生局から1名を派遣。
- ・ 7/10、医療・水道の状況を確認するため、厚生労働省職員、現地の厚生局職員を福岡県・大分県に引き続き派遣。
- ・ 福岡県庁に設置された政府現地連絡調整室に厚生労働省職員1名を派遣。

(11) 農林水産省の対応

- ・ 農村振興局が「梅雨期及び台風期における防災態勢の強化について」を通知(平成29年5月18日)
- ・ 林野庁が「林野に係る山地災害等の未然防止について」を通知(平成29年6月16日)
- ・ 農村振興局が「台風第3号接近に伴う事前点検及び災害発生時の復旧箇所における応急対策の実施について」を通知(平成29年7月3日)
- ・ 水産庁が「台風3号に対する備えと被害報告等について」を通知。(平成29年7月3日)
- ・ 生産局及び政策統括官が「台風3号の通過による強風及び大雨並びに高温に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底について」を通知(平成29年7月3日)
- ・ 経営局が「台風3号の通過による強風及び大雨並びに高温に伴う農作物等の被害防止に向けた技術指導の徹底及び農業共済の対応について」を通知(平成29年7月3日)
- ・ 大臣官房が「今後の気象動向(台風、大雨等)を踏まえた農林水産業共同利用施設の事前点検及び災害発生時の応急対策の実施について」を通知(平成29年7月3日)
- ・ 経営局が「6月30日からの梅雨前線に伴う大雨及び台風3号等による農作物等の被

害に係る迅速かつ適切な損害評価の実施、共済金の早期支払等について」を通知(平成 29 年 7 月 6 日)

- ・ 経営局が「6 月 30 日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成 29 年台風第 3 号による被害農林漁業者に対する資金の円滑な融通、既貸付金の償還猶予等について」を通知(平成 29 年 7 月 6 日)
- ・ 九州農政局が「平成 29 年 7 月 5 日からの大雨による災害に対する金融上の措置について」を通知(平成 29 年 7 月 6 日)
- ・ 松本内閣府副大臣を団長とする政府調査団の現地調査(福岡県)に、大臣官房文書課及び林野庁担当官を派遣(平成 29 年 7 月 6 日から 7 日)
- ・ 水産庁が「6 月 30 日からの梅雨前線に伴う大雨による流木等の被害報告について」を通知(平成 29 年 7 月 7 日)
- ・ 九州森林管理局が福岡県及び大分県の被害状況確認のためヘリコプター調査を実施(平成 29 年 7 月 8 日)
- ・ 松本防災担当大臣を団長とする政府調査団の現地調査(大分県)に、大臣官房文書課、農村振興局及び林野庁担当官を派遣(平成 29 年 7 月 9 日)

(12) 経済産業省の対応

- 7 月 6 日 09:45 各局の主任防災担当官により構成される経済産業省防災連絡会議を開催。
- 7 月 6 日 12:00 福岡県、大分県及び両県内市町村の防災担当部局に対し、水没した太陽電池発電設備による感電防止について、注意喚起文書を発出
- 16:40 福岡県朝倉市及び朝倉郡東峰村、並びに大分県日田市及び中津市に災害救助法が適用されたことを踏まえ、以下の被災中小企業・小規模事業者対策をプレスリリース。
- ①特別相談窓口の設置
 - ②災害復旧貸付の実施
 - ③セーフティネット保証 4 号の実施
 - ④既往債務の返済条件緩和等の対応
 - ⑤小規模企業共済災害時貸付の適用
- 7 月 6 日 21:40 災害救助法の適用を踏まえ、九州電力の要請に対し、以下の措置を講ずることを認可。
- ①電気料金の支払期限の延長
 - ②電気の不使用月の料金免除 等
- 7 月 7 日 6 月 30 日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成 29 年台風台 3 号に係る政府調査団に 5 名の職員を派遣(福岡県)
- 7 月 9 日 6 月 30 日からの梅雨前線に伴う大雨及び平成 29 年台風台 3 号に係る政府調査団に 6 名の職員を派遣(大分県)

(13) 国土交通省の対応

- ・ 国土交通省として、引き続き被害の情報の収集・把握に努める。
- ・ 関係省庁災害警戒会議を受け、国土交通省災害対策連絡調整会議を開催(7/3)。
- ・ 地方整備局等へ、台風第 3 号の接近に伴う注意喚起を発出(7/3)。

- ・中国地方整備局は、被災状況の把握のためヘリコプターにより調査を実施。(7/5)
- ・九州地方整備局は、被災状況の把握のためヘリコプター2機により調査を実施。(7/6～)
- ・関係省庁災害対策会議を受け、国土交通省災害対策連絡調整会議を開催(7/5、7/9)。
- ・国土交通省災害対策本部会議を開催(7/5、7/7)。
- ・東峰村、朝倉市にて携帯電話3社による通話が不通となっているため、東峰村、朝倉市に九州技術事務所から衛星通信車を派遣(7/6～)。
- ・国土技術政策総合研究所から12名の専門家を派遣(7/7)。
- ・土木研究所からのべ4人・日の専門家を派遣(7/7～7/8)。

○リエゾン(情報連絡員)派遣【のべ131人・日派遣(6/30～)】

九州地方整備局より長崎県庁へ、のべ2名派遣(6/30)。

九州地方整備局より福岡県庁、朝倉市、久留米市、うきは市、添田町、東峰村、大分県庁、日田市、中津市へのべ103名派遣(7/5～)。

北陸地方整備局より糸魚川振興局、糸魚川市へ、のべ2名派遣(7/1～7/2)。

北陸地方整備局より新潟県庁、三条市へ、のべ3名派遣(7/3)。

中国地方整備局より島根県庁、浜田市、益田市、広島県庁、安芸高田市、三次市へのべ11名派遣(7/5～7/6)

九州運輸局より福岡県・大分県災害対策本部へリエゾンをのべ10名派遣(7/6～)。

○TEC-FORCE等の派遣【のべ657人・日派遣(7/6～)】(7/10現在171人)

・TEC-FORCE 641人・日派遣(7/5～)(7/10現在169人)

・専門家等 16人・日派遣(7/7～7/8)(7/10現在2人)

○災害対策用機械等出動状況

関東地整、北陸地整、近畿地整、中国地整、四国地整、九州地整より、排水ポンプ車6台、照明車23台、対策本部車4台、衛星通信車2台、衛星通信装置等3台、計38台派遣

(14) 国土地理院の対応

- ・UAV(ドローン)による被災状況撮影のため、国土地理院ランドバード(GSI-LB)を大分県日田市に派遣(7/6)
- ・国土地理院ランドバード(GSI-LB)が大分県日田市の鉄橋流出現場をUAV(ドローン)で撮影(7/7)
- ・国土地理院ランドバード(GSI-LB)が大分県朝倉市内の被害状況をUAV(ドローン)で撮影(7/7)
- ・国土地理院ランドバード(GSI-LB)が福岡県朝倉郡東峰村及び朝倉市内の被害状況をUAV(ドローン)で撮影(7/8)
- ・7月7日に九州地方整備局防災ヘリ(はるかぜ号)で撮影したヘリサット画像からオルソ画像を作成(7/8～)
- ・国土地理院ランドバード(GSI-LB)がUAV(ドローン)で撮影した動画を用いて土砂崩壊地及び道路損壊を判読した、「UAV動画判読図」を作成(7/9)
- ・「東峰地区」、「朝倉地区」、「福岡・大分地区」の空中写真撮影に向けて天候回復待ち(7/6)

(15) 環境省の対応

- ・環境省災害対策チーム設置（7月5日（水）20:50）
- ・九州地方環境事務所災害対策本部設置（7月6日（木）8:00）

【災害廃棄物等関係】

7月5日～

- 各地方環境事務所において、災害廃棄物の発生状況、廃棄物処理施設の被害状況について地方自治体へ確認中

7月6日

- 福岡県災害対策本部に九州地方環境事務所職員及び災害廃棄物処理支援ネットワーク（D.Waste-Net）の廃棄物処理の専門家を派遣し、被災状況の確認及び今後の支援方針について確認
- 福岡県朝倉市に現地支援チームを派遣し、被災状況の確認及び今後の支援方針について確認
- 災害廃棄物処理に関して以下の事務連絡を発出
 - ・災害廃棄物の処理等に係る補助制度の円滑な活用
 - ・災害廃棄物に起因する害虫及び悪臭への対策
 - ・水害による災害廃棄物処理の留意点
 - ・被災した家電リサイクル法対象品目の処理
 - ・被災したパソコンの処理

7月7日

- 政府調査団に本省廃棄物対策課長及び担当官を派遣し、被害状況を調査（福岡県）
- 福岡県朝倉市に関東地方環境事務所職員及び災害廃棄物処理支援ネットワーク（D.Waste-Net）の専門家を追加派遣（概ね1週間を目処に常駐予定。）
- 福岡県朝倉市において、災害廃棄物の仮置場を3カ所確保。分別区分について、技術的な助言を実施。

7月8日

- 福岡県朝倉市において、災害廃棄物の仮置場候補地を事前調査。運営体制等について、技術的な助言を実施。

7月9日

- 政府調査団に本省廃棄物対策課長を派遣し、被害状況を調査（大分県日田市、福岡県東峰村）
- 福岡県朝倉市において、災害廃棄物の仮置場における受け入れ状況を確認し、分別等について助言を実施。

7月10日

- 福岡県と連携して、朝倉市、うきは市、東峰村において、今後の災害廃棄物処理の方針、仮置場の設置状況、支援の必要性等について現地調査・助言を実施予定。

7月11日

- 福岡県と連携して、添田町、東峰村において、今後の災害廃棄物処理の方針、仮置場の設置状況、支援の必要性等について現地調査・助言を実施予定。

(16) 気象庁の対応

- ・梅雨前線及び台風第3号に関して報道等への説明を実施（7月3日 17:20）
- ・島根県の邑南町、浜田市、益田市、津和野町に大雨特別警報を発表（7月5日 05:

55)

- ・ 気象庁災害対策本部設置 (7月5日 05:55)
- ・ 島根県に発表した大雨特別警報について記者会見を実施 (7月5日 07:00)
- ・ 島根県の大雨特別警報を解除 (7月5日 11:15)
- ・ 福岡県の16市町村に大雨特別警報を発表 (7月5日 17:51)
- ・ 福岡県に発表した大雨特別警報について記者会見を実施 (7月5日 19:00)
- ・ 大分県の15市町に大雨特別警報を発表 (7月5日 19:55)
- ・ 大分県に発表した大雨特別警報について記者会見を実施 (7月5日 21:00)
- ・ 福岡県の3市町について大雨特別警報から注意報へ切替発表 (7月5日 23:48)
- ・ 大分県の1市について大雨特別警報から注意報へ切替発表 (7月6日 02:55)
- ・ 福岡県の7市町に大雨特別警報を追加発表 (7月6日 03:10)
- ・ 大分県の2市について大雨特別警報から注意報へ切替発表 (7月6日 06:15)
- ・ 福岡県、大分県の大雨特別警報を解除 (7月6日 14:10)
- ・ 九州北部地方の大雨の見通しについて記者会見を実施 (7月6日 15:30)
- ・ 気象庁ホームページに「7月5日からの梅雨前線による九州北部地方の大雨の関連情報」のポータルサイトを設置 (7月7日)
- ・ 政府調査団 (7日、9日) に職員を派遣
- ・ 福岡県庁に設置された政府現地連絡調整室 (8日～)、朝倉市 (9日～) に職員を派遣して、詳細な気象解説を実施
- ・ 上記のほか、各地の気象台では、地方公共団体等の地元関係機関へ説明を実施
- ・ 気象庁として、引き続き気象状況の把握と情報発信に努める